

『西南学院大学商学論集』 総目録

備考

本資料は、西南学院大学商学部70周年記念事業の一環として、『西南学院大学商学論集』の第1巻から第70巻までに掲載されたすべての文献情報を総目録として整理したものである。なお、論文の種別が設定されていない頃に掲載された文献は論文の種別が未分類であるが、当時と現在の学術的な背景を考慮し、それらについてはすべて論説に分類した。各項目の表記については、明らかな誤字の修正を除いて、『西南学院大学商学論集』に記載されたものをそのまま使用している。

種別	著者	論 題	頁
1巻1号 (1955年2月)			
	坂本 重武	巻頭言	
	古賀 武夫	序文	
論説	山中 均之	配給費についての限界分析 －独占的行動下における－	1～15
論説	岩根 典夫	「改訂商業為替信用状統一規則及び慣例」の成立過程と改訂形態 (一)	17～41
論説	久野 秀男	アメリカ地方自治体会計制度の研究 (三) －自治体会計監査基準－	43～56
論説	山本 純一	能率概念の形成について －生産管理の問題としての一考察－	57～76
論説	細井 卓	ゼルプストファイナンス・ルングの研究 (一) －その体系および意義について－	77～96
論説	中沢慶之助	SOCIAL INTEGRATION 考 －キリスト教的“厚生”概念－	97～116
論説	平岡 規正	価格論と厚生経済学 (一)	117～136
論説	横溝 軌一	転換期の経済政策についての一考察 －明治初期に於ける経済政策について－	137～164
論説	松井 安信	英国における株式銀行の成立	165～189
論説	木村 毅	ヘルムート・トーミンの社会政策論 －体系論へのつぎ－	191～210
論説	船越 栄一	Einertの手形理論について	211～220
論説	古林 善祐	古代ギリシャ都市国家間の法	221～232

種別	著者	論 題	頁
1巻2号 (1955年3月)			
論説	岩根 典夫	「改訂商業荷為替信用状統一規則及び慣例」の成立過程と改訂形態 (二・完)	1~21
論説	中沢慶之助	マルクス主義とキリスト教	23~45
論説	平岡 規正	価格論と厚生経済学 (二)	47~72
論説	松井 安信	「金融資本」の経済的意義	73~94
論説	John.W.Shepard	Freedom in the Foundation of America	95~112
2巻1号 (1955年11月)			
論説	八田 薫	米国の補助金制度について - 米国連邦制度と州財政との関連 (一) -	1~20
論説	平岡 規正	価格論と厚生経済学 (三・完)	21~45
論説	木村 毅	社会思想史の問題と方法 (二)	47~71
論説	中原 千勝	フランス統一会計制度の研究 (一) - 「一九四七年会計案」について -	73~97
論説	久野 秀男	普通銀行統一簿記組織の成立経過とその問題点	99~132
論説	細井 卓	伝統的会社財務論と管理論的財務論	133~157
2巻2号 (1956年2月)			
論説	中沢慶之助	完全雇用への道 - 日本経済を中心として -	1~26
論説	松井 安信	九州金融史の一齣 - 明治初・中期の福岡県金融事情 -	27~47
論説	横溝 軌一	自由主義経済政策成立段階についての一考察 (一)	49~67
論説	木村 毅	社会思想史の問題と方法 (三)	69~92
論説	山中 均之	再販売価格維持についての若干考察	93~115
資料	岩根 典夫	新国際売買条件統一規則「一九五三年インコタームス」と各国貿易条件解釈の比較 (一)	117~131
3巻1号 (1956年7月)			
論説	山本 純一	ノウハウ・マネジメントと科学的管理法 - その計画概念について -	1~25
論説	久野 秀男	基金予算会計制度抄論	27~64
論説	八田 薫	米国の税制調整について - 連邦財政と州財政との関連 (二・完) -	65~80
論説	木村 毅	社会思想史の問題と方法 (四)	81~102
論説	松井 安信	九州金融史の一齣 - 明治初・中期の福岡県金融事情 -	103~130

種別	著者	論 題	頁
3巻2号 (1956年11月)			
論説	大村 匡	販売費とその管理	1~16
論説	遠山 馨	トーマス・マンの貨幣・為替相場論	17~36
論説	中沢慶之助	分業・投資・後進国に関する国際経済論の一考察	37~60
論説	石田 泰二	アメリカにおける無額面株式の一考察	61~82
論説	木村 毅	社会思想史の問題と方法 (五)	83~102
論説	山中 均之	イギリス小売配給組織 (一)	103~128
論説	平岡 規正	森島通夫著「産業連関論入門」に関する覚え書き	1~20
3巻3号 (1957年3月)			
論説	八田 薫	公企業投資の財政的・経済的意義	1~20
論説	松井 安信	貨幣構造の変遷をめぐる諸問題 (一) - イングランド銀行券を中心として -	21~46
論説	中沢慶之助	労働価値論考 (二)	47~64
論説	山本 純一	ノウハウ・マネジメントの最高経営計画 - その経営管理論的意義 -	65~93
論説	中原 千勝	フランス統一会計制度の研究 (二) - 「一九四七年会計案」について -	95~129
論説	久野 秀男	本邦官庁簿記制度沿革史覚え書 (一) - 明治二十二年に至る複式官庁簿記組織の顛末 -	131~174
論説	山中 均之	イギリス小売配給組織 (二)	175~198
論説	岩根 典夫	商業通信における苦情申立とその調整 (英文)	1~25
4巻1号 (1957年7月)			
論説	山本 純一	インダストリアル エンジニアリングと科学的管理法	1~24
論説	木村 毅	社会思想史の問題と方法 (六)	25~53
論説	岩根 典夫	サン・シモン学派変遷史論 (一)	55~81
論説	松井 安信	貨幣構造の変遷をめぐる諸問題 (二) - イングランド銀行券を中心として -	83~103
論説	久野 秀男	本邦官庁簿記制度沿革史覚え書 (二) - (補稿) 「明治二十二年に至る複式官庁簿記組織の顛末」 -	105~130
論説	石田 泰二	青空法・証券法抄	131~146
論説	平岡 規正	利子率決定における資本の限界効率と流動性選好について	1~11
4巻2・3号 (1958年3月) 大村匡先生・中澤慶之助先生還暦記念号			
	古賀 武夫	発刊の辞	1
	八田 薫	大村・中沢両教授の還暦を祝う	2~3

種別	著者	論 題	頁
論説	大道安次郎	家族の近代化と老人－老人社会学の一節－	1～18
論説	八田 薫	米国都市財政概観	19～28
論説	木村 毅	社会政策学の基本的諸問題（一）	29～56
論説	松井 安信	ケインズ管理通貨論の一考察 －貨幣構造変遷との関連において－	57～84
論説	遠山 馨	チャールズ二世治下における対フランス貿易問題	85～106
論説	中原 千勝	フランス統一会計制度の研究（三） －Plan Comptable について－	107～140
論説	山本 純一	科学的管理法における管理職能と組織階層論 －インダストリアル・エンジニアリングと科学的管理法 （二）－	141～166
論説	古林 輝久	労務監査論考	167～190
論説	久野 秀男	明治初期における複式官庁簿記制度の史的意義について	191～204
論説	山中 均之	マーケティング セオリー（一）	205～228
論説	小田嘉一郎	仮登記抄論	229～248
論説	大村 匡	販売費の分析計算	249～262
論説	中沢慶之助	貨幣と利子率 －ケインズ「計算貨幣」の系譜に関連して－	263～287
論説	平岡 規正	Keynesian Dynamics に関する覚え書き	1～26
論説	岩根 典夫	「譲渡可能」荷為替信用状論	27～52
5巻1号（1958年7月）			
論説	木村 毅	社会政策学の基本的諸問題（二）	1～28
論説	山中 均之	マーケティング セオリー（二）	29～46
論説	平岡 規正	ヒックス「景気循環論」に関する覚え書き	1～24
		1. 昭和32年度商学部卒業生論文目録	
		2. 西南学院大学学術研究所規程	
5巻2号（1958年10月）			
論説	岩根 典夫	チュルゴー研究 －「人間精神の連続的進歩の哲学的展望」を中心として－	1～28
論説	原田三喜雄	我国寄生地主制論をめぐって	29～53
論説	遠山 馨	トーマス・マンの経済理論 －富の概念を中心として－	55～75
論説	平岡 規正	レオンチェフ体系における静止解の正值性について	1～32
5巻3号（1959年3月）			
論説	中沢慶之助	経済の場,考	1～24

種別	著者	論 題	頁
論説	松井 安信	国家信用と再生産 -資本主義的「一般法則」の具体化-	25~46
論説	木村 毅	社会政策学の基本的諸問題 (三)	47~68
論説	山本 純一	エマアソンの能率原理 -その科学的管理論の研究-	69~92
論説	山崎 良也	効用の公理論について	1~18
6巻1・2号 (1959年12月) 開学十周年記念			
	古賀 武夫	発刊の辞	
	八田 薫	大学創立十周年を迎えて	
論説	中沢慶之介	労使人間関係論序説	1~24
論説	八田 薫	米国地方財政の動向 -特に収入を中心として-	25~36
論説	木村 毅	社会政策と自営業者	37~58
論説	松井 安信	現下の炭鉱不況と地方財政の危機 -福岡県のばあい-	59~82
論説	遠山 馨	チャールズ一世治下の貨幣政策	83~106
論説	原田三喜雄	明治維新と地租改正	107~128
論説	山崎 良也	認定問題をめぐる計量経済学の課題	129~152
論説	大村 匡	ロビンソン・パットマン法と販売価格	153~168
論説	岩根 典夫	チュルゴーの「ギルド廃止令」に現れた自由放任主義産業政策	169~192
論説	山本 純一	農協経営管理の組織構造 -その基本職能的考察-	193~216
論説	古林 輝久	ドロッカーの労働観	217~241
論説	山中 均之	マーケティング理論の一動向 -P.J.Verdoornのマーケティング・ミックス論をめぐって-	243~265
論説	石田 泰二	アメリカ資本市場における最近の変貌 -プライベート・プレイズメント-	267~292
論説	船越 栄一	一人会社について -ドイツの有限会社を中心として-	1~10
論説	平岡 規正	均衡分析の諸断面	11~37
		西南学院大学論集・文学論集・商学論集掲載個人別研究論文総目録Ⅱ (商学関係)	39~44
6巻3号・7巻1号 (1960年6月) 渡辺定一先生還暦記念号			
	古賀 武夫	還暦記念号発刊の辞	
	中沢慶之助	渡辺定一先生還暦記念号によせて	

種別	著者	論 題	頁
論説	中沢慶之助	労使争議和解への道	1~22
論説	八田 薫	国庫補助金論	23~37
論説	松井 安信	いわゆる「段階論」の再検討 -管理通貨制度の前提を吟味するために-	39~58
論説	遠山 馨	チャールズ一世治下における王立兩替官職の復活について	59~80
論説	古林 輝久	ビジネス・ポリシイ小論	81~98
論説	山中 均之	家具マーケティングについて	99~122
論説	市村 昭三	経営計画における利益計画の意義	123~142
論説	平岡 規正	ヒックス「景気循環論」をめぐって	1~28
論説	山崎 良也	ストックについての若干の覚書	29~50
		昭和三十三年度卒業生論文目録	143~152
		昭和三十四年度卒業生論分目録	153~162
7巻2号 (1960年12月)			
論説	大村 匡	販売費管理と標準	1~13
論説	岩根 典夫	チュルゴーの自由交易思想の展開についての実証的考察 -一七六三年の「穀物輸送の自由に関する王令」までを中心として-	15~37
論説	市村 昭三	ヴァッター資金理論の特質とその問題点	39~60
論説	原田 実	ラインとスタッフに関する一考察	61~82
論説	中沢慶之助	日本経済の構造社会学的管見	83~106
論説	松井 安信	信用貨幣の形態転化について (一) -銀行券の法貨規定を中心とした実証的研究-	107~130
論説	原田三喜雄	明治初期における新政策の創出過程 (一) -秩祿処分をめぐって-	131~154
論説	村岡 俊三	国際価値論と世界貨幣 -リカードの外国貿易論を中心として-	155~179
論説	平岡 規正	ドーフマン「リニヤール・プログラミング」におけるシンプ レックス法の基本定理の証明にあらわれた誤謬について	1~29
論説	山崎 良也	「伸縮的加速度因子について」 -Goodwin model-を中心として	31~53
7巻3号 (1961年2月)			
論説	八田 薫	石炭鉱業の不況と地方財政 -特に筑豊四都市を中心として-	1~17
論説	原田三喜雄	明治初期における新政策の創出過程 (二) -秩祿処分をめぐって-	19~44
論説	村岡 俊三	世界貨幣について -一つの覚え書き-	45~67

種別	著者	論 題	頁
論説	古林 輝久	労務政策の現代的特質とその課題	69～89
論説	原田 実	ファンクショナルスタッフの成立過程 - 製鉄工場の事例を中心として -	91～111
8巻1号 (1961年7月)			
論説	市村 昭三	資金論における損益計算拒否の論拠	1～19
論説	松井 安信	信用貨幣の形態転化について (二) - 銀行券の法貨規定を中心とした実証的研究 -	21～43
資料	荒川 邦寿	現代会計学の課題とその展望 - M.Moonitz and C.L.Nelsonの所論を中心として -	45～60
		昭和三十五年度商学部商学科卒業生論文題目	61～70
論説	平岡 規正	投資の産出効果と経済成長	1～20
8巻2号 (1961年12月)			
論説	木村 毅	社会思想史の問題と方法 (七)	1～19
論説	遠山 馨	1620年代初期の不況	21～45
論説	原田三喜雄	明治初期における新政策の創出過程 (三) - 秩禄処分をめぐって -	47～72
論説	川島 信義	ステュアート信用論の特質 (一)	73～99
論説	後藤 泰二	金融資本概念における株式会社の理解について	101～120
論説	荒川 邦寿	会計における企業利益の測定	121～141
8巻3号 (1962年3月)			
論説	大村 匡	販売費の製品別分析	1～21
論説	市村 昭三	企業主体理論と資金理論の本質的相違に関する試験的考察 (I) - 残余持分概念の分析を中心として -	23～56
論説	中沢慶之助	"Representative Money"考	57～82
論説	平岡 規正	Matthewsの景気循環モデルについて	1～26
9巻1号 (1962年6月)			
論説	中沢慶之助	実践的歴史科学方法論 - 二元論的歴史観に立ちて -	1～22
論説	岩根 典夫	コンジヤックの商業自由の思想について	23～42
論説	山中 均之	アスピノウォールのマーケティング理論	43～63
論説	原田 実	経営管理組織におけるスタッフ概念について	65～83
学会消息		経済理論学会 日本会計研究学会	85～91
		昭和36年度商学部商学科卒業論文題目	92～105
論説	平岡 規正	景気循環論におけるHicksとMatthews	1～24

種別	著者	論 題	頁
9巻2号 (1962年12月)			
論説	後藤 泰二	『金融資本論』における株式会社の理解について (一) - その金融資本理論と関連して -	1~21
論説	遠山 馨	1620年初期の経済政策 (一)	23~45
論説	村岡 俊三	世界市場における価値法則 - 国際価値論研究 (一) -	47~73
学会消息		日本経営学会、日本金融学会、日本財政学会	75~83
研究ノート	市村 昭三	E.O.Edwards&P.W.Bell教授における経営利潤論の展開(1) - 会計的利益概念及び経済学的利益概念の限界及びその克服のための努力 -	1~20
研究ノート	荒川 邦寿	エドワーズ・ベルによる実質利益の測定について (2) - 固定資産会計を中心として -	21~42
9巻3号 (1963年3月)			
論説	遠山 馨	1620年代初期の経済政策 (二)	1~23
論説	村岡 俊三	国際間における貨幣の相対的価値の相違について - 国際価値論研究 (二) -	25~45
論説	川島 信義	ステュアート信用論の特質 (二)	47~64
論説	後藤 康二	『金融資本論』における株式会社の理解について(二・完) - その金融資本理論と関連して -	65~86
論説	平岡 規正	非負行列に関するFrobeniusの定理について	1~13
研究ノート	岩根 典夫	ガット (GATT) の本質とその思想的先駆者バステリア (一)	15~29
研究ノート	荒川 邦寿	エドワーズ、ベルによる実質利益の測定について (3)	31~52
10巻1号 (1963年6月)			
論説	後藤 泰二	ヒルファディング創業利得論の理解について (一)	1~30
論説	川島 信義	ステュアート信用論の特質 (三)	31~56
		学会消息 第二六回日本比較法学会	57~62
		昭和37年度商学部商学科卒業論文題目	63~74
論説	山中 均之	ブランド・シェアをめぐる諸問題	1~22
研究ノート	市村 昭三	E.O.Edwards&P.W.Bell教授における経営利潤論の展開 (そのII) - 実現可能利益と営業利益の分析的考察 -	23~46
研究ノート	荒川 邦寿	エドワーズ・ベルによる実質利益の測定 (4、完)	47~64
10巻2号 (1963年8月) 八田薫教授還暦記念号			
		八田薫教授略歴及び業績	
	古賀 武夫	還暦記念号発刊の辞	

種別	著者	論 題	頁
	船越 栄一	八田薫先生還暦記念論文集に寄せて	
論説	中沢慶之助	労使関係の四型考 -その人間学的分析-	1~22
論説	横溝 軌一	自由主義理念の成立とその反省	23~38
論説	大村 匡	販売費の地域別分析	39~58
論説	原田 実	オートメーションと管理組織の変化 -とくに中間管理の両極分解論に関して-	59~81
論説	平田 正敏	設備の経済寿命測定について	83~114
研究ノート	市村 昭三	E.O.Edwards&P.W.Bell教授における経営利潤論の展開 (そのⅢ) -経営利潤概念と会計的利益概念との相互関連について-	65~84
論説	平岡 規正	オートメーションと投入産出分析	1~24
論説	山中 均之	マーケティングと在庫管理	25~49
研究ノート	岩根 典夫	ガット (GATT) の本質その思想的先駆者バステリア (二)	51~64
10巻3号 (1963年12月)			
論説	後藤 泰二	ヒルファディング創業利得論の理解について (二)	1~25
論説	木村 毅	社会政策学の基本的諸問題 (四)	27~50
論説	村岡 俊三	世界市場における競争の二法則 -国際価値論研究 (三) -	51~80
論説	川島 信義	『外国貿易』の生成過程 -ステュアート信用論の特質 (四) -	81~109
論説	市村 昭三	資金計画における流動性原理と収益性原理	1~28
論説	平岡 規正	消費者行動に関する新理論と新新理論	29~52
10巻4号 (1955年2月)			
論説	後藤 泰二	ヒルファディング創業利得論の理解について (三)	1~29
論説	荒川 邦寿	近代会計理論の再検討 -企業会計原則の一部修正をめぐる問題点-	31~53
論説	志村 治実	現物出資と危険負担	55~75
論説	中沢慶之助	On the Value of Money	1~7
研究ノート	平田 正敏	関門BYPASS計画におけるトンネル増設案または橋梁架設案の代替的選択問題に関する経済計算	9~43
11巻1号 (1964年6月)			
論説	後藤 泰二	ヒルファディング創業利得論の理解について (四・完)	1~21

種別	著者	論 題	頁
論説	山中 均之	ブランド・ロイヤルティとストア・ロイヤルティ	1～23
論説	市村 昭三	アメリカ株式会社企業の資金調達源泉の変貌と、それを規定する諸要因に関する実証的研究	25～57
論説	平岡 規正	在庫管理に関する久武雅夫博士のモデルなどについて	59～93
11巻2号 (1955年2月)			
論説	高木 真助	限界分析の史的発展 (I)	1～29
論説	市村 昭三	戦後のアメリカ企業における資本構成の変貌とその規定諸要因	31～71
研究ノート	岩根 典夫	GATTの本質とその思想的先駆者バステア (3)	73～87
論説	川島 信義	『外国貿易』の展開と『商業社会』 - スチュアート信用論の特質 (五) -	1～35
11巻3号 (1965年2月) 古賀武夫教授還暦記念号			
		古賀武夫教授略歴	
	八田 薫	古賀武夫先生の還暦を祝つて	
	船越 栄一	古賀武夫先生の還暦記念論文集に寄せて	
論説	大村 匡	販売費の顧客別分析	1～9
論説	岩根 典夫	サン・シモンの産業主義思想についての一試論 (一)	11～31
論説	荒川 邦寿	現代会計理論の展開 - A・A・A五七年版会計基準補正報告書第一号の問題点 -	33～54
論説	原田 実	組織理論にかんする若干の考察 (一) - いわゆる「古典的」組織理論について -	55～70
論説	平田 正敏	“Leverage”と資本コスト - E・ソロモンの所説を中心として -	71～91
論説	志村 治実	現物設立と事後設立 (一)	93～117
論説	八田 薫	都市財政の問題点	119～137
論説	木村 毅	社会政策体系試論	139～153
論説	山中 均之	商品分類について - 消費者財を中心として -	1～22
論説	市村 昭三	運転資本管理の一環としての棚卸資産管理	23～41
論説	平岡 規正	限界分析による生産の理論の線型数学的展開	43～64
論説	高木 真助	安定条件論の学史的考察	65～83
論説	L・G・ワルダー	The Relevance and Relationship of Traditional Economic Theory to Development for Underdeveloped Societies	85～107
11巻4号 (1965年3月)			
論説	高木 真助	限界分析の史的発展 (II)	1～22

種別	著者	論 題	頁
論説	市村 昭三	資本構成と資本コストとの関連についてのモジリアニ、ミラー理論の問題点 －バーゼスのMM批判に関連して－	23～47
論説	荒川 邦寿	現代会計における「保有利得ないし損失」の測定・表示 －ディッケンズとブラックバーンの批判を中心として－	49～72
論説	川島 信義	『国内商業』の展開と信用 －ステュアート信用論の特質（六）－	1～35
12巻1号（1965年5月）			
論説	平田 正敏	有形固定資産耐用年数測定論（一） －わが国税法における耐用年数算定方式の吟味－	1～29
論説	高津 英雄	「交換方程式」 －その性格と意義についての覚書－	31～64
論説	山村 延昭	エドワード三世の財政政策（上）	65～93
論説	John W.Shepard,Jr.	"Worldly Asceticism"and Economic Incentive －A Study of Sekimon Shingaku－	1～23
12巻2号（1965年8月）			
論説	山村 延昭	エドワード三世の財政政策（下）	1～28
論説	平田 正敏	有形固定資産耐用年数測定論（二） －税法における効用持続年数観と陳腐化の問題－	29～54
論説	高木 真助	決意分析の学史的考察（I）	1～31
論説	井上 康男	最適資本構成と資本コスト	33～56
資料	原田 実	生産方式と組織構造に関する実態調査について －Joan Woodward:Management and Technology.1958.の紹介－	57～87
12巻3号（1965年12月） 中原千勝教授還暦記念号			
		中原千勝教授 略歴	
	古賀 武夫	中原千勝教授の還暦を祝って	
	船越 栄一	中原千勝先生の還暦記念論文集に寄せて	
論説	古林 輝久	経営倫理への管見	1～24
論説	岩根 典夫	コンドルセの商業自由思想についての一試論 －進歩史観との関連において－	25～51
論説	原田 実	組織理論にかんする若干の考察（二） －人間関係論的アプローチについて－	53～78
論説	八田 薫	法人税をめぐる問題	79～91
論説	山村 延昭	初期スティプル商人の存在形態 －ウイリアム・ドゥ・ラ・ポール一家の場合－	93～119
論説	山中 均之	ブランド・ロイヤルティに関する実証的研究	1～22

種別	著者	論 題	頁
論説	井上 康男	設備の最適寿命の計算に関する一考察	23～51
論説	高木 真助	農民余剰史観 －経済史は我々に何を教えるか－	53～74
論説	大内 和臣	国際裁判所への個人の出訴権	75～102
資料	志村 治美	福岡市における小規模株式会社の法的実態	103～136
12巻4号 (1966年3月)			
論説	川島 信義	ジェイムズ・ステュアートの信用理論 －その「土地銀行論」的性格－	1～36
論説	高木 真助	決意分析の学史的考察 (Ⅱ)	1～22
資料	志村 治美	福岡市における小規模株式会社の法的実態 (二)	23～54
13巻1号 (1966年7月)			
	船越 栄一	商学・経済学論集の分離発行に際して	1～2
論説	山中 均之	ブランド遷移モデル －Lipsteinの研究をめぐって－	1～24
論説	市村 昭三	利益計画と資金計画との総合化について (Ⅰ) －バラネクの所論を中心として－	25～46
資料	志村 治美	福岡市における小規模株式会社の法的実態 (三)	47～83
13巻2号 (1966年9月)			
論説	山口 稲生	投資者のための会計について	1～20
論説	井上 康男	総合的投資計画による設備の最適寿命の測定について	1～26
論説	市村 昭三	利益計画と資金計画との総合化について (Ⅱ) －バラネクの所論を中心として－	27～49
論説	白樫三四郎	成員の行動志向の類型と集団の課題解決 －自己志向・相互作用志向・課題志向の研究－	51～60
論説	大内 和臣	国際仲裁機関への個人を代表する国家の出訴権	61～81
13巻3号 (1967年2月) 西南学院創立50周年記念号			
論説	古林 輝久	中小企業と労務管理 －雇用構造の変化をめぐって－	1～34
論説	後藤 泰二	株式会社の資本について －経済学における株式会社論への疑問－	35～52
論説	原田 実	経営管理概念の理解についての覚え書 －「個別資本運動説」における最近の論争に関連して－	53～80
論説	志村 治美	立法過程より見たエネルギー産業の保護と調整	81～117
論説	井上 康男	資金調達と最適資本構成	119～146
論説	山中 均之	小売商圏の研究	147～171
論説	白樫三四郎	リーダーの対人認知と行動	173～182

種別	著者	論 題	頁
		商学論集掲載論文総目録	183～194
13巻4号 (1967年3月)			
論説	平田 正敏	最近における経営分析の操作主義的特徴について	1～12
論説	山中 均之	ショッピングセンター類型試論	13～39
論説	大内 和臣	国際仲裁機関への個人を代表する国家の出訴権 (二)	pp.41～57
論説	白樫三四郎	リーダーシップ研究の展望	59～80
論説	山口 稲生	適応の会計理論 - R.J.Chambersの所論より -	81～101
資料	志村 治美	福岡市における小規模株式会社の法的実態について (四・完)	103～136
14巻1号 (1967年6月)			
	中原 千勝	商学論集と法学論集の分離発行に際して	
論説	井上 康男	企業の配当政策について	1～23
論説	平田 正敏	減価償却論における宮上理論の一吟味	25～37
論説	大内 和臣	国際仲裁機関への個人を代表する国家の出訴権 (三)	39～56
研究ノート	徳重宏一郎	相互作用的アプローチによる組織論について (一)	57～70
学会消息		日本会計研究学会第26回大会	71～76
14巻2号 (1967年10月)			
論説	井上 康男	設備投資の経済性計算の再検討	1～30
論説	平田 正敏	経営分析論の方法についての覚書	31～47
研究ノート	岩根 典夫	第2次改訂「荷為替信用状統一規則 (1962年改訂)」の商務論的研究 (1)	49～65
資料	白樫三四郎	集団力学概論 (1)	67～101
14巻3号 (1968年1月)			
論説	杉原 実	法人税法における寄付金の概念	1～19
論説	高田駒次郎	後発事項について	21～41
資料	原田 実	賃金構造と組織構造 - J.L.Meij 「Wage Structure and Organization Structure」の紹介 -	43～60
学会消息		日本経営学会第41回大会	61～66
14巻4号 (1968年3月)			
論説	杉原 実	法人税法上の貸倒引当金	1～24
論説	白樫三四郎	林業集団のリーダーシップ	25～63
論説	高田駒次郎	監査報告書における未確定事項について	65～84

種別	著者	論 題	頁
15巻1号 (1968年6月)			
論説	杉原 実	法人税に於ける有形固定資産の取得価額	1~24
論説	井上 康男	資本利益率による業績評価の問題点	25~45
論説	平田 正敏	有形固定資産耐用年数測定論 (3) - 経済寿命測定に関するメアイ=クラークセン模型の吟味 (そのI) -	47~74
論説	土方 久	ディナミッシュ・ピランツにおける計算原則の展開 (I)	75~92
15巻2号 (1968年9月)			
論説	杉原 実	法人税法の圧縮記帳	1~30
論説	井上 康男	事業部制における内部振替価格の決定について	31~52
論説	市村 昭三	LPによる最適現金収支計画の研究 - ロピチェクらの所論を中心として -	53~82
論説	白樫三四郎	林業集団のリーダーシップ (2)	83~100
論説	土方 久	ディナミッシュ・ピランツにおける計算原則の展開 (II)	101~119
研究ノート	徳重宏一郎	相互作用的アプローチによる組織論について (2)	121~139
学会消息		日本会計研究学会 第27回大会	141~146
15巻3号 (1968年12月)			
論説	後藤 泰二	「利潤の分割」と株式会社 - 宇野教授の株式会社論について -	1~23
論説	杉原 実	税法に於ける固定資産の交換と買換え	1~31
論説	高田駒次郎	監査意見について	33~52
論説	土方 久	ディナミッシュ・ピランツにおける計算原則の展開 (III)	53~71
論説	小森 俊介	「広告活動」管理序説	73~95
15巻4号 (1969年2月)			
論説	杉原 実	租税公課の税務簿記	1~28
論説	井上 康男	工程別総合原価計算表の表示形式について	29~68
論説	平田 正敏	言語論的会計理論の一吟味	69~86
論説	山口 稲生	会計理論における「客観性」概念と「有用性」概念の変化	87~103
16巻1号 (1969年6月)			
論説	杉原 実	福利厚生費の税務簿記	1~28
論説	井上 康男	物価変動会計について	29~53
論説	平田 正敏	井尻教授の簿記理論について	55~82

種別	著者	論 題	頁
16巻2号 (1969年9月)			
論説	馬場 克三	個別資本運動説の反省	1~18
論説	杉原 実	交際費の税務簿記	19~46
論説	井上 康男	国際会計について	47~70
論説	平田 正敏	会計計算の構造と行列簿記	71~131
論説	土方 久	ゲルトマッハーの貸借対照表論 (I) - 「ダイナミッシェ・ピランツ」との関連において -	133~163
16巻3号 (1966年3月)			
論説	杉原 実	給料の税務簿記	1~25
論説	平田 正敏	井尻教授の会計測定論について	27~48
論説	徳重宏一郎	組織設計の関する一考察	49~66
論説	高田駒次郎	監査理論における財務諸表表示方法の準拠性	67~86
論説	土方 久	ゲルトマッハーの貸借対照表論 (II) - 「ダイナミッシェ・ピランツ」との関連において -	87~115
論説	徳永正二郎	スミス「余剰捌け口説」の一検討 - 「外国貿易の必然性」について (その1)	117~146
16巻4号 (1970年2月)			
論説	杉原 実	繰延資産の税務簿記	1~26
論説	平田 正敏	複式記入のアルゴリズムについて	27~77
論説	白樫三四郎	林業集団のリーダーシップ (3)	79~114
論説	小森 俊介	「広告効果」に関する一考察 - marketing tools としての広告活動 -	115~139
17巻1号 (1970年6月)			
論説	馬場 克三	ドラッカー経営学の一考察	1~23
論説	杉原 実	広告宣伝費と旅費の税務簿記	25~51
論説	井上 康男	第3のMAPIシステムについて	53~72
論説	山口 稲生	現代会計学における価値学派と事象学派	73~92
17巻2号 (1970年10月)			
論説	杉原 実	賞与引当金の税務簿記	1~27
論説	高田駒次郎	財務諸表適正性についての一考察 - AICPAの見解を中心として -	29~46
論説	徳永正二郎	船荷証券と貿易金融 - CIF TERMSの生成と関連して -	47~93
論説	土方 久	ハウスマーの貸借対照表論 - 「ダイナミッシェ・ピランツ」との比較において -	95~131

種別	著者	論 題	頁
17巻3号 (1970年12月)			
論説	杉原 実	負担金の税務簿記	1～27
論説	徳永正二郎	資本主義の外延的發展と世界市場 - 世界市場の「歴史的段階規定」と「二重の分析視角」と に関連して -	29～95
17巻4号 (1971年4月)			
論説	馬場 克三	ギルマン会計公準論の一吟味	1～22
論説	杉原 実	修繕費と見本品費の税務簿記	23～48
論説	徳永正二郎	商業信用と外国為替 - 外国為替取引の「本質」と17-18世紀「貿易決済制度」 -	49～92
18巻1号 (1971年6月)			
論説	杉原 実	入会金・景品費・割り戻しの税務簿記	1～26
論説	平田 正敏	費用的現金収支管理の吟味 (1)	27～58
論説	徳永正二郎	世界市場の創設と貿易決済 - 貿易決済制度の歴史的変遷に関する覚え書 -	59～94
資料	土方 久	架空利潤の計算 - ベンダーの見解について -	95～109
18巻2号 (1971年9月)			
論説	杉原 実	給料の税務簿記 (Ⅱ)	1～21
論説	平田 正敏	費用的現金収支管理の吟味 (2)	23～81
論説	山口 稲生	アメリカ税法における耐用年数の決定に関する一考察	83～102
論説	高田駒次郎	監査報告書における除外事項と説明事項について	103～122
論説	藤田 昌也	ハックス簿記組織論と複写式簿記	123～143
資料	徳永正二郎	會熙『資本主義国の国際決済方式』	145～164
18巻3号 (1971年12月)			
論説	古林 輝久	行動科学の労務管理 - 「行動科学的人間像」を中心に -	1～31
論説	杉原 実	有価証券の税務簿記 (Ⅰ)	33～56
論説	土方 久	アルバツハの貸借対象表論 - 「ダイナミッシュ・ビランツ」との比較において -	57～94
18巻4号 (1972年2月)			
論説	杉原 実	有価証券の税務簿記 (Ⅱ)	1～29
論説	糸園 辰雄	再販制度について	31～52
論説	土方 久	マールベルクの貸借対照表論 (Ⅰ) - 「ダイナミッシュ・ビランツ」との関連において -	53～89

種別	著者	論 題	頁
19巻1号 (1972年5月)			
論説	井上 康男	連結財務諸表について	1~26
論説	杉原 実	退職給与引当金の税務簿記 (I)	27~51
論説	平田 正敏	内部利益率法における二つの解の問題とその解決法について	53~80
論説	土方 久	マールベルクの貸借対照表論 (II) - 「ダイナミッシュ・ビランツ」との関連において -	81~103
論説	藤田 昌也	行列簿記と帳簿組織	105~143
論説	野藤 忠	カール・ツァイス財団経営史 (I) - エルンスト・アッペの経営政策を中心にして -	145~171
19巻2号 (1972年8月)			
論説	馬場 克三	企業計算構造論への一試論	1~23
論説	杉原 実	退職給与引当金の税務簿記 (II)	25~50
論説	平田 正敏	会計情報システムにおける展開表分析の意義	51~98
論説	高田駒次郎	監査意見の生成とその発展について - AICPAの公式的見解に基づいて -	99~120
論説	白樫三四郎	林業集団のリーダーシップ (4)	121~142
論説	小森 俊介	「管理的」広告効果測定論に関する一考察	143~174
19巻3号 (1972年11月) 西南学院大学院経営学研究科創設記念号			
	船越 栄一	大学院発足記念商学論集の発刊を祝して	i
	古林 輝久	大学院経営学研究科創設記念論文集の発刊にあたって	ii
	八木 幹	大学院経営学研究科創設記念号に寄せて	iii
論説	馬場 克三	資本循環公式にもとづく勘定理論への二つの接近法	1~18
論説	古林 輝久	「日本の労務管理論」への省察 - 年功主義と能力主義 -	19~46
論説	後藤 泰二	株式会社設立様式の経済的意味	47~64
論説	平田 正敏	財務管理の方法とシミュレーション (I)	65~112
論説	糸園 辰雄	商業資本系列化の一側面 - 系列販売会社について -	113~131
論説	杉原 実	日本産業史 - 明治時代初期の機業経営 -	133~159
論説	山口 稲生	簿記会計と会計情報論 - 1971年「会計測定基礎委員会報告」をめぐって -	161~182
論説	白樫三四郎	フィードラワーのリーダーシップ効果性理論の展望	183~230
論説	高田駒次郎	監査論における意見差控について	231~251

種別	著者	論 題	頁
論説	土方 久	マールベルクの貸借対照表論（Ⅲ） －「ダイナミッシェ・ビランツ」との関連において－	253～324
論説	小森 俊介	広告活動予算設定問題の一展開	325～351
論説	野藤 忠	カール・ツァイス財団経営史（Ⅱ） －エルンスト・アッペの経営政策を中心にして－	353～373
資料	藤田 昌也	減価償却方法を規定するもの －ハックスの見解－	375～385
19巻4号（1973年2月）			
論説	杉原 実	損害賠償金の税務簿記	1～25
論説	糸園 辰雄	零細商業の存立構造	27～45
20巻1号（1973年5月）			
論説	杉原 実	借地権の税務簿記	1～26
論説	糸園 辰雄	中小商業問題	27～47
論説	徳永正二郎	委託荷見返前貸制度とFactors Acts －19世紀英国貿易決済制度の検討（1）－	49～80
論説	藤田 昌也	ビランツ・シェーマにおける資本項目の1つの解釈	81～96
論説	野藤 忠	カール・ツァイス財団経営史（Ⅲ） －エルンスト・アッペの経営政策を中心にして－	97～121
資料	土方 久	稼得利潤と処分可能利潤（Ⅰ） －エントレスの見解について－	123～167
20巻2号（1973年8月）			
論説	杉原 実	棚卸資産の取得価額の税務簿記	1～24
論説	平田 正敏	自由償却と資本コスト（Ⅰ）	25～70
論説	井上 康男	運転資本資金計算書について	71～90
論説	野藤 忠	エルンスト・アッペの経営政策とヴァルター・ラーテナウ の経営政策	91～116
資料	土方 久	稼得利潤と処分可能利潤（Ⅱ） －エントレスの見解について－	117～153
20巻3号（1973年11月）			
論説	杉原 実	原価差額の税務簿記	1～25
論説	平田 正敏	自由償却と資本コスト（Ⅱ）	27～60
論説	田代 義範	O.シェルドンの経営組織論	61～78
論説	糸園 辰雄	わが国中小商業論の系譜	79～105
論説	岡本 幸雄	我国紡績会社勃興期の「技術者」問題 －「技術者」の自立化とその養成－	107～143
論説	徳永正二郎	委託荷見返前貸制度と1830年代英米間貿易・決済機構 －19世紀英国貿易決済制度の検討（2）－	145～216

種別	著者	論 題	頁
論説	野藤 忠	ワルター・ラーテナウの企業自主化論について	217～241
資料	土方 久	稼得利潤と処分可能利潤（補） －エントレスの見解について－	243～283
20巻4号（1974年2月）			
論説	杉原 実	減価償却の税務簿記（1）	1～23
論説	平田 正敏	資本予算の数理構造（1）	25～92
論説	糸園 辰雄	中小商業について －その規模による区分－	93～119
論説	岡本 幸雄	明治期紡績賃金問題研究ノート	121～149
論説	小森 俊介	広告活動の計量化の展開（1）	151～194
資料	土方 久	稼得利潤と処分可能利潤（Ⅲ） －エントレスの見解について－	195～228
21巻1号（1974年5月）			
論説	平田 正敏	資本予算の数理構造（2）；Lorie-Savage模型の整数計画法	1～114
論説	糸園 辰雄	わが国卸売商業における独占資本と中小商業（その1）	115～142
論説	徳永正二郎	為替手形と大市振替決済 －外国為替の歴史と信用代位説－	143～243
論説	藤田 昌也	資本維持論の構造への一試論	245～262
論説	野藤 忠	ナチスの時代におけるエルンスト・アッペの経営理念の防衛 －フリードリッヒ・ショメルイスの見解を中心に－	263～293
資料	土方 久	稼得利潤と処分可能利潤（Ⅳ） －エントレスの見解について－	295～345
21巻2号（1974年8月）			
論説	馬場 克三	会計理論における主体の問題	1～21
論説	井上 康男	総合原価計算における純粋先入先出法と修正先入先出法	23～43
論説	糸園 辰雄	加工食品卸売業における階層分化	45～68
資料	山口 稲生	スターリングの数量会計論について	69～81
資料	土方 久	稼得利潤と処分可能利潤（Ⅴ） －エントレスの見解について－	83～130
資料	野藤 忠	カッチャーとエルスターによるアッペ研究 －20世紀初頭におけるアッペの経営政策の研究－	131～165
21巻3号（1974年11月）			
論説	糸園 辰雄	中小商業の存在理由	1～22
論説	徳永正二郎	マーチャント・バンカーと荷為替信用制度 － <i>c.i.f.</i> 売買（貿易慣習）の生成と関連して－	23～84
論説	小森 俊介	広告活動の計量化の展開（2）	85～111

種別	著者	論 題	頁
論説	土方 久	「ダイナミッシュ・ピランツ」の再検討 - ミュンスターマンの補説を中心として -	113~158
論説	野藤 忠	ワイマール共和国時代のカール・ツァイス財団 (I) - 社会化および経営協議会の問題を中心に -	159~193
21巻4号 (1975年2月)			
論説	平田 正敏	運転資本所要量推算とシミュレーション	1~59
論説	糸園 辰雄	下請制度の最近の変化	61~89
論説	白樫三四郎	リーダーシップ研究の展望2要因 - 配慮、構造づくり - 理論：文献展望	91~117
論説	徳永正二郎	外国為替取引とは何か - 為替信用代位説批判によせて -	119~165
論説	野藤 忠	ワイマール共和国時代のカール・ツァイス財団 (II) - インフレーション期の賃金問題を中心に -	167~196
資料	土方 久	「ダイナミッシュ・ピランツ」の研究 - 損益計算書における貨幣価値調整 -	197~221
22巻1号 (1975年5月)			
論説	平田 正敏	経営学方法論覚書	1~23
論説	糸園 辰雄	造船業における下請について (I)	25~54
論説	岡本 幸雄	創設・勃興期における紡績企業と動力資源問題管見	55~80
論説	藤田 昌也	時価主義の構造 - 1つの時価主義観 -	81~101
論説	野藤 忠	イエーナ・ツァイス工場の成立 (I) - フリードリッヒ・ショメルスの見解を中心に -	103~131
22巻2号 (1975年8月)			
論説	井上 康男	直接労務費の計算方法について	1~22
論説	平田 正敏	投資のリスク分析とモンテカルロ・シミュレーション	23~98
論説	糸園 辰雄	造船業における下請について (II) - 加工外注について -	99~120
論説	白樫三四郎	フィードラーのリーダーシップ - 効果性理論の展望 (II-1) -	121~150
論説	徳永正二郎	外国為替取引と信用 - 近代的為替銀行の機能とその形成論理 -	151~196
22巻3号 (1975年11月) 開学25周年記念号			
論説	古林 輝久	雇用構造の変化と労使関係	1~17
論説	平田 正敏	現金予算のシミュレーションをめぐる一つの問題	19~62
論説	山口 稲生	損益計算と持分計算	63~81

種別	著者	論 題	頁
論説	白樫三四郎	フィードラーのリーダーシップ - 効果性理論の展望 (II-2) -	83~113
論説	土方 久	「ダイナミッシュ・ピランツ」の基底 (I)	115~154
論説	野藤 忠	イエーナ・ツァイス工場の成立 (II) - フリードリッヒ・ショメルスの見解を中心に -	155~182
論説	藤重 義則	公理的会計理論の吟味 - マテシッチ理論を中心として -	183~204
資料	小森 俊介	ネット・オーディエンスの推定について - 広告媒体の選択に関連して -	205~234
22巻4号 (1976年2月) 馬場克三博士古稀記念号			
論説	後藤 泰二	19世紀後半における米国生命保険会社の資産運用について	1~21
論説	杉原 実	取引高税 (I)	23~42
論説	田代 義範	バーナードの組織理論	43~64
論説	糸園 辰雄	わが国鉄鋼業における社外工制度 (I) - 旧型大手製鉄所・八幡製鉄所を中心に -	65~96
論説	辻 和夫	国有企業における経済効率と採算原理	97~119
論説	土方 久	「ダイナミッシュ・ピランツ」の基底 (II)	121~151
論説	野藤 忠	エルンスト・アッペとオットーショットの共同 - ショット・ウント・ゲンガラス工場の成立 -	153~179
書評	久保田音二郎	高田駒次郎著「近代監査報告書論」について	181~186
23巻1号 (1976年5月)			
論説	後藤 泰二	プライベートプレイズメントにおける最近の傾向について	1~24
論説	杉原 実	取引高税 (II)	25~48
論説	糸園 辰雄	わが国鉄鋼業における社外工制度 (II) 新立地製鉄所 - 親日鉄大分製鉄所を中心に	49~82
論説	小森 俊介	小売商業の展開と都市空間の拡大 - 福岡市・北九州市・熊本市について -	83~132
資料	野藤 忠	ピュッツによるアッペ研究	133~151
23巻2号 (1976年8月)			
論説	後藤 泰二	戦後日本の生命保険会社における金融機関的地位の回復	1~36
論説	田代 義範	ドラッカーの管理論	37~55
論説	糸園 辰雄	造船業における下請制について (III)	57~80
論説	土方 久	「ダイナミッシュ・ピランツ」の生成 (I) - 1673年の「フランス商業条令」について -	81~117
資料	野藤 忠	AEGの成立	119~151

種別	著者	論 題	頁
23巻3号 (1976年12月)			
論説	井上 康男	資本予算と効用理論	1~23
論説	山口 稲生	インフレーション会計について	25~45
論説	糸園 辰雄	化学工業における社外工制度	47~70
論説	藤田 昌也	資本維持の二つの計算構造	71~86
論説	土方 久	「ダイナミッシェ・ピランツ」の生成 (Ⅱ) -1673年の「フランス商業条令」について-	87~145
論説	野藤 忠	カール・ツァイス財団の成立	147~173
23巻4号 (1977年2月)			
論説	平田 正敏	現代会計における事象学派の理論について	1~26
論説	糸園 辰雄	建設業における下請制度	27~54
論説	野藤 忠	エルンスト・アッペの終音	55~78
資料	土方 久	「ダイナミッシェ・ピランツ」の研究 -貨幣価値調整についての例示-	79~104
24巻1号 (1977年6月)			
論説	糸園 辰雄	建設業下請制度の一側面 -コンクリート圧送業について-	1~23
論説	藤田 昌也	EDP会計における複合取引の問題	25~39
資料	野藤 忠	20世紀初頭のツァイス	41~72
24巻2号 (1977年9月)			
論説	平田 正敏	最近における損益分岐点分析の展開	1~44
論説	井上 康男	資本市場理論と資本コスト	45~72
論説	糸園 辰雄	建設業下請制度の一側面 (Ⅱ) -躯体三職について-	73~96
論説	藤田 昌也	株式会社の資本維持	97~120
論説	土方 久	「ダイナミッシェ・ピランツ」の継承 (Ⅰ)	121~155
論説	小森 俊介	オーディエンス推計法の展開について -P.Hofmansの手法から-	157~192
資料	野藤 忠	ワイマール共和国時代のツァイス	193~226
24巻3号 (1977年12月)			
論説	平田 正敏	財務管理的資本調達論の構造	1~98
論説	山口 稲生	資本確定計算とその論理 -資本と負債の関連において-	99~118
論説	土方 久	「ダイナミッシェ・ピランツ」の継承 (Ⅱ)	119~154
資料	野藤 忠	ツァイス100年史目の分岐点	155~179

種別	著者	論 題	頁
24巻4号 (1978年3月)			
論説	平田 正敏	収益性諸指標の調整方法	1~42
論説	白壁三四郎	集団問題解決に及ぼす集団成員の等質・異質性の効果	43~58
論説	辻 和夫	交通規制に関する一考察	59~79
資料	野藤 忠	ツァイスの社会的経営政策	81~95
25巻1号 (1978年6月)			
論説	糸園 辰雄	戦前の流通問題 (覚書)	1~26
論説	田代 義範	経営参加	27~48
資料	土方 久	ワルプの貸借対照表学説史 - ドイツ高等商事裁判所の判決からシェフラーの貸借対照表論まで -	49~77
資料	野藤 忠	カール・ツァイス財団の生成過程	79~99
25巻2号 (1978年9月)			
論説	杉原 実	学校法人会計基準の問題点	1~23
論説	小森 俊介	買物行動の多様化の関する一考察 - 小売商業の「今日的」問題に関連して -	25~51
資料	土方 久	「デナミッシュ・ピランツ」の研究 (I) - 貸借対照表法規の展開について -	53~84
資料	野藤 忠	カール・ツァイス財団定款	85~135
25巻3号 (1978年12月) 糸園辰雄教授還暦記念号			
		糸園教授略歴	
	村上 寅次	糸園教授の還暦記念論文集の発刊を祝して	
	古林 輝久	祝辞	
論説	後藤 泰二	英国生命保険会社の普通株投資	1~16
論説	平田 正敏	ウォールの比率分析法について	17~42
論説	杉原 実	日本産業史 - 明治時代中期の機業経営 -	43~75
論説	井上 康男	資本予算における投資と財務の結合計算について	77~99
論説	白壁三四郎	リーダーシップ行動と集団状況	101~112
論説	高田駒次郎	除外事項の本質についての再検討	113~132
論説	田代 義範	社会的責任論	133~154
論説	辻 和夫	ドイツにおける国有企業の展開	155~173
論説	小森 俊介	小売商業調整に関する一考察 - 小売商圏研究からの批判的考察 -	175~201

種別	著者	論 題	頁
論説	土方 久	「ダイナミッシュ・ピランツ」の生成（Ⅰ） -1861年の「ドイツ一般商法典」について-	203-248
論説	藤田 昌也	中国増減記帳法の論理	249-264
論説	野藤 忠	カール・ツァイス財団の経営目的	265-321
論説	井田 雄平	発展途上国の製造工業品輸出と多国籍企業	323-341
資料	山口 稲生	取替原価利益と予測能力	343-359
資料	土方 久	「ダイナミッシュ・ピランツ」の研究（Ⅱ） -貸借対照表法規の展開について-	361-389
25巻4号（1979年3月）			
論説	平田 正敏	財務諸表分析に対する統計的分解分析の適用	1-33
論説	糸園 辰雄	小売商業の調整制度について（Ⅰ）	35-57
資料	野藤 忠	ラーテナウ父子（1）	59-84
26巻1号（1979年6月）			
論説	古林 輝久	減速経済体制と「日本的」雇用制度	1-33
論説	平田 正敏	不確実性の条件下における損益分岐点分析の展開	35-97
論説	山口 稲生	複式簿記の貸借構造と増減構造	99-122
論説	野藤 忠	ツァイスの展開	123-183
資料	土方 久	「ダイナミッシュ・ピランツ」の生成 -貸借対照表法規と判決について-	185-204
26巻2号（1979年9月）			
論説	古林 輝久	減速経済体制と「日本的」雇用制度（2）	1-31
論説	平田 正敏	現代企業の支配形態について	33-53
論説	土方 久	「ダイナミッシュ・ピランツ」の生成（Ⅱ） -1861年の「ドイツ一般商法典」について-	55-82
資料	土方 久	シュマーレンバッハの文献目録	83-123
資料	野藤 忠	ラーテナウ父子（2）	125-164
26巻3号（1979年12月）			
論説	糸園 辰雄	中小商業の階層の区分について	1-25
論説	岡本 幸雄	産業資本成立期における地方紡績企業の展開	27-56
論説	土方 久	「ダイナミッシュ・ピランツ」の生成（Ⅲ） -1861年の「ドイツ一般商法典」について-	57-84
資料	土方 久	カメラル会計の構造 -行政カメラル学について-	85-122
資料	野藤 忠	ドイツ工業力成立史（1）	123-151

種別	著者	論 題	頁
26巻4号 (1980年3月)			
論説	古林 輝久	減速経済体制と「日本的」雇用制度 (3)	1~31
論説	井上 康男	資本予算における資本コスト	33~53
論説	糸園 辰雄	地方中小零細商業の現状と兼業化の進展	55~80
資料	土方 久	カメラル会計の構造 -経営カメラル学について-	81~119
資料	野藤 忠	ドイツ工業力成立史 (2)	121~147
27巻1号 (1980年6月)			
論説	田代 義範	ドラッカーのナチズム論	1~24
論説	西野 宗雄	最近の日本経済に関する一考察 -物価上昇と日本経済-	25~58
資料	土方 久	カメラル会計の展開 (I) -ワルプの見解について-	59~79
資料	野藤 忠	ドイツ工業力成立史 (3)	81~108
27巻2号 (1980年10月)			
論説	岡本 幸雄	明治期綿糸紡績業における「職工賃与・備替制度」の存在 とその意義 -紡績併合会の役割と関連において-	1~26
論説	白樫三四郎	THE INTERACTION EFFECTS FOR BEHAVIOR OF LEAST PREFERRED COWORKER (LPC) SCORE AND GROUP-TASK SITUATIONS; A REANALYSIS	27~39
論説	高田駒次郎	後発事項についての再検討	41~58
論説	西野 宗雄	利子生み資本の基本的規定	59~77
資料	土方 久	カメラル会計の展開 (II) -ワルプの見解について-	79~98
資料	野藤 忠	ドイツ工業力成立史 (4)	99~134
27巻3号 (1980年12月)			
論説	小森 俊介	小売商業の「技術革新」に関する一考察 -米合衆国における展開を中心として-	1~28
論説	土方 久	ディナミッシュ・ピランツの再吟味	29~71
資料	野藤 忠	ドイツ工業力成立史 (5)	73~93
資料	西野 宗雄	「イギリス国債史」 -E.L.Hargreaves, <i>The National Debt</i> , 1930-	95~127
27巻4号 (1981年3月)			
論説	井上 康男	リースの管理会計的考察	1~25
論説	田代 義範	経営権力の正統性	27~44

種別	著者	論 題	頁
論説	糸園 辰雄	フランスの中小商業政策 —ロワイエ法を中心に—	45~73
論説	土方 久	ディナミッシュ・ピランツにおける比較性の原則	75~113
論説	池田 哲郎	オフィス・オートメーションにおける人間要素	115~142
資料	野藤 忠	ドイツ工業力成立史 (6)	143~168
28巻1号 (1981年6月)			
論説	糸園 辰雄	西ドイツにおける大規模小売店舗の規制	1~26
論説	辻 和夫	公的所有と"公益"概念	27~47
論説	西野 宗雄	利潤の分割と利子率とについて	49~64
資料	野藤 忠	ドイツ工業力成立史 (7)	65~89
資料	西野 宗雄	「イギリス国債史」(第十二章) —E.L.Hargreaves, <i>The National Debt</i> , 1930—	91~116
資料	岡本 幸雄 今津 健治	農商務省工務局編『愛知紡績所沿革』(自創業 至明治十六年四月) 稿本	117~166
28巻2号 (1981年10月)			
論説	井上 康男	事業体間の振替価格について	1~23
論説	高田駒次郎	監査報告準則の問題点	25~48
資料	野藤 忠	ドイツ工業力成立史 (8)	49~80
資料	西野 宗雄	「イギリス国債史」(第14章) —E.L.Hargreaves, <i>The National Debt</i> , 1930—	81~107
資料	岡本 幸雄 今津 健治	農商務省工務局編『新町紡績所沿革』(自創業 至明治十五年六月) 稿本	109~184
28巻3号 (1981年12月)			
論説	田代 義範	ドロッカーの自由論	1~20
論説	山口 稲生	中国記帳法の土法的性格	21~42
資料	糸園 辰雄	イタリアの小売商業調整制度 —商業基本法(1971)を中心に—	43~65
資料	岡本 幸雄 今津 健治	農商務省工務局編『千住製絨所沿革』(自創業 至明治十五年八月) 稿本	67~142
28巻4号 (1982年3月)			
論説	田代 義範	権力と法	1~24
論説	野藤 忠	1927年のオットー・ショットとヘルベルト・キューネットの対談	25~43
論説	西野 宗雄	利子と企業者利得	45~66
資料	土方 久	ドイツ貸借対照法史の研究 (I)	67~90

種別	著者	論 題	頁
資料	岡本 幸雄 今津 健治	官営愛知紡績所の経営・払下げ関係史料 －国立公文書館所蔵『公文録』、『公文類聚』抄録－	91~139
29巻1号 (1982年8月)			
論説	平田 正敏	「通産省大型店舗審査方法」に依拠した九州地区小売業情報データベースについて (1)	1~48
資料	土方 久	ドイツ貸借対照法史の研究 (Ⅱ)	49~74
資料	野藤 忠	W.O.ヘンダソン：ドイツ国税同盟 (1)	75~96
資料	西野 宗雄	株式会社と株式制度	97~122
29巻2号 (1982年10月)			
論説	平田 正敏	OA理論の性格とその深耕の方向	1~42
論説	土方 久	ダイナミッシュ・ピランツにおける時価償却思考 (Ⅰ)	43~62
資料	土方 久	ダイナミッシュ・ピランツの新展開 (Ⅰ) －シェミレヴィッチのFBEシステム論について－	63~105
資料	野藤 忠	W.O.ヘンダソン：ドイツ国税同盟 (2)	107~139
資料	田中謙一郎	軸変換算法	141~173
資料	岡本 幸雄 今津 健治	官営新町紡績所の創立・経営関係史料 －国立公文書館所蔵『公文録』、『公文類聚』抄録	175~204
29巻3・4号 (1983年3月) 西南学院大学大学院経営学研究科創設十周年記念号			
	村上 寅次	大学院開設10周年記念号刊行に寄せて	i
	後藤 泰二	大学院経営学研究科創設10周年記念号に寄せて	ii
	岡本 幸雄	大学院経営学研究科『記念論文集』刊行に寄せて	iii
論説	後藤 泰二	有限責任と資本家規定 －有限責任と擬制資本 (1) －	1~15
論説	平田 正敏	会計測定と会計情報システム	17~41
論説	田代 義範	ドラッカーの「見えざる革命論」	43~68
論説	岡本 幸雄	日清戦後後の地方紡績企業の展開 －博多絹綿紡績会社の創設・経営事情一斑－	69~91
論説	白樫三四郎	フィードラーのリーダーシップ訓練法とその批判	93~120
論説	野藤 忠	ツァイス・イコン株式会社の生成	121~153
論説	佐々木武夫	産業化と社会的流動性 －地方都市の地域移動－	155~180
論説	田中謙一郎	生産性測定問題の新局面	181~201
論説	池田 哲郎	「オフィスの認識」 －オフィス・オートメーション化のために－	203~234

種別	著者	論 題	頁
論説	糸園 辰雄	わが国中小商業の特質	235~261
論説	辻 和夫	国有産業における財政目標制度	263~279
論説	小川 雄平	「中進国」の重化学工業化と貿易構造	281~308
論説	西野 宗雄	マーケット概念の展開と交換の諸原則にかんする諸問題 (1)	309~334
論説	大矢 繁夫	1920年代におけるドイツ金融市場	335~358
論説	杉原 実	日本産業史 - 明治時代後期の機業経営 -	359~393
論説	井上 康男	製造原価要素別計算における諸問題	395~413
論説	山口 稲生	棚卸資産評価差額のギャリング修正益 - イギリスにおけるインフレーション会計論争 -	415~438
論説	高田駒次郎	後発事象	439~457
論説	土方 久	ダイナミッシュ・ピランツにおける時価償却思考 (II)	459~491
論説	濱田 和樹	推移確率による債権回収予測と分析	493~516
30巻1号 (1983年6月)			
論説	糸園 辰雄	わが国中小商業問題の再検討	1~28
論説	濱田 和樹	目標達成のための階層間情報交換について	29~48
資料	土方 久	ダイナミッシュ・ピランツの新展開 (II) - シュミレヴァイッチのFBEシステム論について -	49~86
資料	野藤 忠	W.O.ヘンダソン: ドイツ関税同盟 (3)	87~112
資料	濱田 和樹	経営計画のための価格 - 数量情報について	113~125
30巻2号 (1983年10月)			
論説	井上 康男	利子の資産原価算入	1~18
論説	土方 久	ダイナミッシュ・ピランツにおける恒常在高思考 (I)	19~42
論説	野藤 忠	エルンスト・アッペの経営共同体思考	43~66
論説	濱田 和樹	情報価値とストカスティック・プログラミング	67~86
論説	Charlotte G.O'kelly	RESERCH ON THE PROBLEMS OF WOMEN MANAGERS IN THE UNITED STATES : IMPLICATIONS FOR JAPAN	87~96
資料	土方 久	ダイナミッシュ・ピランツと正規の簿記の諸原則	97~116
30巻3号 (1983年12月)			
論説	山口 稲生	ギャリング修正益の問題点	1~22
資料	小森 俊介	広告コミュニケーションの持続効果	23~48
資料	田中謙一郎	効率尺度としての生産性	49~65

種別	著者	論 題	頁
30巻4号 (1984年3月)			
論説	野藤 忠	ツァイスの再生と回想	1~24
論説	西野 宗雄	銀行制度一般の諸規定について -信用制度と銀行制度-	25~48
論説	濱田 和樹	不確実性下の利益計画モデルと解法 -離散的処理をしたモデルを中心として-	49~69
31巻1号 (1984年6月)			
論説	土方 久	ダイナミッシュ・ピランツにおける恒常在高思考 (Ⅱ)	1~26
論説	野藤 忠	東と西のツァイス	27~48
論説	大矢 繁夫	通貨安定後のドイツにおける貨幣市場と証券信用	49~70
資料	糸園 辰雄	商店街近代化事業について -大分県日田市の事例-	71~94
31巻2号 (1984年11月)			
論説	井上 康男	総合原価計算における連産品・副産物・仕損の処理	1~18
論説	白樫三四郎	社会的な手抜きと比較文化的研究	19~39
論説	佐々木武夫	日本的経営と経営理念 -間 宏・経営社会学研究-	41~62
論説	濱田 和樹	部門の適応力と差異分析について	63~83
論説	池田 哲郎	管理のための必要情報と情報システム	85~121
資料	土方 久	正規の簿記の諸原則について -ダイナミッシュ・ピランツの理解のために-	123~163
31巻3号 (1984年12月)			
論説	田代 義範	ドラッカーの産業社会論	1~27
論説	山口 稲生	イギリスのカレントコスト会計の問題点	29~50
論説	土方 久	ダイナミッシュ・ピランツにおける恒常在高思考 (Ⅲ)	51~70
論説	野藤 忠	エルンスト・アッペの経営社会政策	71~97
論説	大矢 繁夫	西独銀行の対外進出とルクセンブルク金融市場	99~123
論説	田中謙一郎	非効率分析の一視座	125~141
31巻4号 (1985年3月)			
論説	土方 久	ゲルトマッハーの力維持思考 (Ⅰ) -ダイナミッシュ・ピランツの継承として-	1~17
論説	野藤 忠	エルンスト・アッペの経営社会思想	19~50
論説	西野 宗雄	貨幣資本の蓄積と利率 -現実資本と貨幣資本 (Ⅰ) -	51~85
資料	小森 俊介	広告コミュニケーションの持続効果	87~114

種別	著者	論 題	頁
32巻1号 (1985年6月)			
論説	糸園 辰雄	イギリスの中小小売商業	1~26
論説	高田駒次郎	財務諸表適正表示の諸条件とそれらに関する諸問題について	27~54
論説	土方 久	ゲルトマッハーの力維持思考 (Ⅱ) -ダイナミッシュ・ピランツの継承として-	55~84
論説	野藤 忠	ワイマル期のツァイス	85~116
論説	佐々木武夫	日本的経営論の学説的研究 -『組織科学』掲載論文をデータとして-	117~146
論説	濱田 和樹	多品種生産企業の原価差異分析再考 -数値例を中心として-	147~166
32巻2号 (1985年9月)			
論説	井上 康男	海外直接投資の資本予算	1~22
論説	野藤 忠	ワルター・ラーテナウの経営社会思想	23~49
論説	大矢 繁夫	「金融資本」をめぐる一つの理論問題 -金融資本と擬制資本・証券市場に関する研究 (2) -	51~68
資料	山口 稲生	イギリスASC公開草案第35号「物価変動会計」について	69~94
32巻3号 (1985年12月)			
論説	土方 久	マールベルクの中和化思考 (Ⅰ) -ダイナミッシュ・ピランツの継承として-	1~32
論説	野藤 忠	経営自主体思想	33~55
論説	大矢 繁夫	擬制資本・証券市場と信用 -金融資本と擬制資本・証券市場に関する研究 (2) -	57~76
論説	佐々木武夫	職業構造と職業意識 -世代と性をめぐる変質過程-	77~98
論説	濱田 和樹	LPによる利益計画モデルと勘定の連係 -係数行列が階段状システムとなる場合について-	99~121
32巻4号 (1986年3月)			
論説	土方 久	マールベルクの中和化思考 (Ⅱ) -ダイナミッシュ・ピランツの継承として-	1~23
論説	野藤 忠	エルンスト・アッペの経営思想	25~50
論説	西野 宗雄	貨幣信用制度の形成にかんする一考察 (上)	51~74
論説	田中謙一郎	X理論モデルと経営者裁量論モデル	75~97
33巻1号 (1986年5月)			
論説	土方 久	ダイナミッシュ・ピランツの生成契機 (Ⅰ) -貸借対照表価値論争をめぐって-	1~27
論説	野藤 忠	アメリカ合衆国におけるツァイス紹介	29~48

種別	著者	論 題	頁
論説	濱田 和樹	多工程をもつ企業の利益計画モデル -特に、工程間振替係数が変化する場合について-	49-71
資料	土方 久	ディナミッシュ・ピランツの研究 -貸借対照表価値論争の出発点について-	73-86
資料	大矢 繁夫	銀行の発行活動に関するノート	87-93
33巻2号 (1986年10月)			
論説	土方 久	ディナミッシュ・ピランツの生成契機 (Ⅱ) -貸借対照表価値論争をめぐる-	1-42
論説	西野 宗雄	産業資本としての銀行制度と銀行利潤	43-67
論説	大矢 繁夫	ドイツにおける銀行集中運動 -1920年代を中心に-	69-86
論説	濱田 和樹	企業計画へのミニ・マックス型の目標計画法の利用	87-114
33巻3号 (1986年12月)			
論説	山口 稲生	実体資本維持会計の構造と貨幣運転資本	1-25
論説	野藤 忠	社会的経営政策	27-46
論説	白石 善章	成熟社会と大型店の適応戦略	47-80
資料	土方 久	『ディナミッシュ・ピランツ』-文献解題	81-106
33巻4号 (1987年3月)			
論説	糸園 辰雄	我が国の大手加工食品卸売商	1-22
論説	野藤 忠	ツァイスの礎	23-51
論説	濱田 和樹	学習効果を加味した経営計画モデルについて -損益分岐点分析と利益計画モデルを中心として-	53-79
資料	田中謙一郎	生産性測定問題の一視座	81-96
34巻1号 (1987年7月)			
論説	井上 康男	製造原価性の研究 (1)	1-22
論説	糸園 辰雄	零細小売商の停滞について	23-47
論説	白石 善章	都市小売商業の分析フレーム	49-67
34巻2号 (1987年9月)			
論説	平田 正敏	ペーパーレス会計の目標	1-34
論説	野藤 忠	アッベとツァイスの経営共同体	35-54
論説	白石 善章	消費者の店舗忠誠の形成とその論理	55-65
論説	濱田 和樹	多品種生産企業の利益計画モデルとC-V-P分析	67-97
資料	佐々木武夫	産業化と社会変動 (1) -M.ハーシュコピッツ『産業社会学』-	99-114

種別	著者	論 題	頁
34巻3号 (1987年11月)			
論説	平田 正敏	ペーパーレス会計の技術的環境	1~39
論説	岡本 幸雄	明治20年代綿糸紡績職工争奪 (誘引) 問題 (1)	41~62
論説	山口 稻生	中国における財産収支記帳法と増減記帳法の一考察	63~91
論説	高田駒次郎 伊藤 龍峰	地方自治体の不正事件と監査制度について	93~112
論説	野藤 忠	アッベとショットの経営共同体	113~133
論説	田中謙一郎	半径効率尺度のが学説史的基礎	135~152
資料	土方 久	ドイツ税法会計史の研究 (1) -バルト著『貸借対照表法の発展』をめぐって-	153~175
34巻4号 (1988年3月)			
論説	糸園 辰雄	わが国卸売流通の構造とその変化	1~24
論説	岡本 幸雄	明治20年代綿糸紡績職工争奪 (誘引) 問題 (II) -職工争奪防止対策と争奪実態-	25~59
論説	野藤 忠	アッベとツァイス製品	61~91
論説	西野 宗雄	貨幣信用制度と社会的生産 -資本所有の潜在的な廃止について-	93~116
論説	濱田 和樹	不確実性下の利益計画モデルとC-V-P分析 -チャンス・コンストレインド・プログラミングの利用-	117~144
論説	田中謙一郎	半径投入効率尺度	145~179
資料	佐々木武夫	産業化と社会変動 (2) -M.ヒルショヴィチ『産業社会学』-	181~200
35巻1号 (1988年6月)			
論説	井上 康男	利益積立金の部分を有する特別項目の研究	1~25
論説	野藤 忠	カール・ツァイスの創業	27~61
論説	白石 善章	環境変化と公設小売市場 (I)	63~86
論説	濱田 和樹	割引キャッシュ・フロー設備投資計画モデルについて	87~111
論説	田中謙一郎	半径産出効率尺度	113~146
資料	糸園 辰雄	わが国における卸売研究ノート	147~175
資料	佐々木武夫	産業化と社会変動 (3) -M.ヒルショヴィチ『産業社会学』-	177~195
資料	岡本 幸雄	明治末期紡績合併に関する一史料 -綿糸紡績株式会社の合併をめぐる紛擾について-	197~244
35巻2号 (1988年11月)			
論説	野藤 忠	カール・ツァイスの技能	1~24

種別	著者	論 題	頁
論説	大矢 繁夫	西独銀行と金融再規制	25~44
論説	濱田 和樹	多部門利益計画モデルと補助部門費、共通費の配賦法について	45~71
資料	佐々木武夫	産業化と社会変動 (4) -M.ヒルショヴィチ『産業社会学』-	73~96
翻訳	小川 雄平	韓国系多国籍企業の展開と特質	97~106
35巻3号 (1989年1月)			
論説	野藤 忠	エルンスト・アッペの光学探究	1~30
論説	白石 善章	環境変化と公設小売市場 (Ⅱ)	31~46
論説	濱田 和樹	0-1整数計画法による内部統制システムのモデル	47~73
論説	岡本 幸雄	明治三十年代九州における紡績合併 -三池紡績の鐘紡合併論と九州合併論-	75~100
35巻4号 (1989年3月)			
論説	平田 正敏	オフィスをどのように理解するか	1~36
論説	野藤 忠	ツァイスとアッペとショットの共同	37~81
論説	白石 善章	環境変化と公設小売市場 (Ⅲ)	83~94
論説	大矢 繁夫	第1次大戦前におけるドイツの銀行の国際業務	95~119
論説	西野 宗雄	貨幣信用制度の形成にかんする一考察 (下)	121~138
研究ノート	田中謙一郎	オフィス情報システムの評価と測定の試み	139~160
資料	土方 久	秘密準備金の分類	161~183
資料	佐々木武夫	産業化と社会変動 (5) -M.ヒルショヴィチ『産業社会学』-	185~217
資料	岡本 幸雄	明治期綿糸紡績職工争奪防止の関する史料 -中央綿糸紡績業同盟会規約を中心として-	220~262
36巻1号 (1989年6月)			
論説	土方 久	貸借対照表と会計情報	1~12
論説	野藤 忠	カール・ツァイス財団創立への道程	13~60
研究ノート	濱田 和樹	業務管理のためのインセンティブ・モデルについて -エイジェンシー理論の利用-	61~89
資料	土方 久	秘密準備金の分析 -1965年の西ドイツ株式法について-	91~110
36巻2号 (1989年10月)			
論説	平田 正敏	続・オフィスをどのように理解するか	1~58
論説	井上 康男	国外直接投資の経済性計算	59~81
論説	小森 俊介	マーケティング「理念」論に関する一考察	83~99

種別	著者	論 題	頁
資料	佐々木武夫	産業化と社会変動 (6) -M.ヒルシヨビチ『産業社会学』-	101-120
36巻3・4号 (1990年3月) 西南学院大学商学部開設40周年記念号			
	田中 輝雄	祝辞	
	田代 義範	創立40周年記念論文集刊行に寄せて	
論説	古林 輝久	「社会福祉」と「企業福祉」 -日本型構想を中心に-	1-19
論説	井上 康男	現金収支計算書の研究	21-49
論説	後藤 泰二	最近のわが国火災保険の動向 -「保険の中」から「経済の中」へ-	51-69
論説	平田 正敏	日本の株価とトービンの“q”	71-133
論説	岡本 幸雄	明治30年代九州における紡績合併 -九州紡績株式会社の成立と組織-	135-162
論説	山口 稲生	カレントコスト会計における株式帰属利潤と分配可能利潤	163-185
論説	高田駒次郎	財務諸表適正表示の条件について (その一) -基本的条件を中心として-	187-210
論説	土方 久	秘密積立金の選択権	211-237
論説	野藤 忠	エルンスト・アッペの経営理念	239-270
論説	濱田 和樹	資源配分モデルと部門業績指標について	271-299
論説	田中謙一郎	双曲グラフ効率尺度	301-328
論説	糸園 辰雄	零細小売商の停滞と分化	329-358
資料	大矢 繁夫	第一次大戦前におけるドイツの銀行の証券信用について	359-368
資料	佐々木武夫	産業化と社会変動 (7) -M.ヒルシヨビチ「産業社会学」-	369-389
論説	田代 義範	経営技術 -T.ヴェブレン理論と関連して-	392-414
37巻1・2号 (1991年1月) 古林輝久教授古稀記念号			
		古林輝久教授略歴	
	田中 輝雄	祝辞 -感謝をこめて-	
	田代 義範	祝辞 -古林輝久教授の古稀に寄せて-	
論説	古林 輝久	「社会福祉」と「企業福祉」 (2) -日本型構想を中心に-	1-38
論説	平田 正敏	「SISとOAとの関係」についての考察	39-88
論説	野藤 忠	第2次大戦直後のツァイス	89-113

種別	著者	論 題	頁
論説	岡本 幸雄	明治期綿糸紡績職工の雇用をめぐる若干の問題 -九州地方における三池紡績会社の事例を中心として-	115~140
論説	高田駒次郎	財務諸表適正表示の条件について (その二) -継続性の変更を中心として-	141~183
研究ノート	田中謙一郎	機会主義と企業組織の発展	185~199
資料	後藤 泰二	一時払い養老保険のその後について	201~213
資料	佐々木武夫	産業化と社会変動 (8) -M.ヒルシヨビチ『産業社会学』-	215~238
37巻3・4号 (1991年2月) 杉原実教授古稀記念号			
		杉原実教授略歴および業績	
	田中 輝雄	祝辞 -感謝をこめて-	
	田代 義範	祝辞 -杉原実教授の古稀に寄せて-	
論説	濱田 和樹	構造行列による経営計画モデル	1~25
論説	土方 久	負債化能力と繰延収益	27~42
論説	井上 康男	国際直接投資の資本予算における政治リスクの処理	43~70
論説	野藤 忠	東西ドイツ通貨統合時のツァイス	71~101
論説	高田駒次郎	地方自治体の会計基準・監査基準の検討 -監査報告基準・準則の検討を中心として-	103~126
論説	辻 和夫	英国における国家持株制度の消長	127~144
論説	山口 稲生	アンソニーの非営利組織会計論に関する一考察	145~165
資料	後藤 泰二	変額保険について	167~180
資料	土方 久	ドイツ商法における貸借対照表能力	181~211
資料	佐々木武夫	産業化と社会変動 (9) -M.ヒルシヨビチ『産業社会学』-	213~244
38巻1・2号 (1991年10月)			
論説	土方 久	貸借対照表能力の画定メカニズム	1~20
論説	野藤 忠	企業の社会貢献活動	21~49
資料	土方 久	貸借対照表能力と経済財	51~84
資料	佐々木武夫	産業化と社会変動 (10) -M.ヒルシヨビチ『産業社会学』-	85~114
38巻3・4号 (1992年3月) 井上康男教授古稀記念号			
		井上康男教授略歴および業績	
	田中 輝雄	祝辞 -感謝を込めて-	

種別	著者	論 題	頁
	高田駒次郎	祝辞 －井上康男教授の古稀に寄せて－	
論説	古林 輝久	「福祉社会」と「企業福祉」(3) －日本型構想を中心に－	1~44
論説	濱田 和樹	経営計画モデルの特徴と予算編成 －数理計画法適用の意義－	45~68
論説	土方 久	貸借対照表能力の問題点	69~84
論説	西野 宗雄	貨幣貸借と信用取引 －貨幣信用制度と信用・信用貨幣の創造－	85~128
論説	野藤 忠	アッペの経営思想の諸相	129~155
論説	高田駒次郎	監査制度とそれに関連する諸問題について(そのⅠ) －アメリカの監査制度を中心として－	157~178
研究ノート	小川 雄平	中韓経済交流の現段階	179~196
資料	土方 久	貸借対照表能力と経済財(Ⅱ)	197~212
資料	岡本 幸雄	綿糸紡績事業と士族授産に関する一史料 －岡山紡績会社関係史料－	214~272
39巻1・2号(1992年9月)			
論説	濱田 和樹	管理会計モデルへのファジィ理論の適用 －利益計画モデルへの適用を中心として－	1~24
論説	土方 久	ドイツ会計制度における貸借対照表能力の帰属問題	25~43
論説	高田駒次郎	監査制度とそれに関連する諸問題について(そのⅡ) －わが国の監査制度を中心として－	45~72
論説	竹林 明	日本企業の国際化と賃金制度についての一考察 －知識形成の賃金制度－	73~99
論説	田中謙一郎	オフィス生産性序論	101~128
論説	田代 義範	経営倫理の一考察〔1〕 －G.F.カバーナの所論－	129~151
資料	土方 久	ドイツ税法と資産家能力のある経済財	153~184
39巻3・4号(1993年3月) 西南学院大学大学院経営学研究科創設20周年記念号			
	田中 輝雄	大学院開設20周年記念号に寄せて	
	小森 俊介	大学院経営学研究科創設20周年を迎えて	
	山口 稲生	大学院経営学研究科『20周年記念論文集』の刊行によせて	
論説	古林 輝久	企業の倫理問題	1~22
論説	濱田 和樹	管理会計問題へのAHP(階層開始決定報)適用	23~50
論説	土方 久	静態論と貸借対照表能力	51~82

種別	著者	論 題	頁
論説	平田 正敏	ライベンスタインのX効率論構造について (1) 個人の努力の選択と効用の問題	83~122
論説	西野 宗雄	銀行制度の「特殊機能」について -資本主義の現在と労働者階級の貨幣貯蓄-	123~143
論説	野藤 忠	アメリカ的経済思想の諸相	145~163
論説	小川 雄平	朝鮮の貿易動向	165~178
論説	大矢 繁夫	証券金融システムの意義	179~204
論説	田代 義範	経営倫理の一考察〔Ⅱ〕 -G.F.カバーナの所論-	205~223
論説	辻 和夫	交通規制緩和政策と米国航空産業	225~246
論説	渦原 実男	地球環境マーケティングと教育 -学生の意識と行動のアンケート結果から-	247~276
論説	山口 稲生	会計構造と多次元簿記	277~296
論説	米山 茂美	競争的並列主義 -製品開発における競争と協調-	297~328
論説	吉武 春光	最近のコンピュータの環境の変化について	329~347
資料	後藤 泰二	第三分野の保険について	349~364
40巻1・2号 (1993年6月) 高田駒次郎教授追悼号			
		故高田駒次郎教授略歴および業績	
	田中 輝雄	献辞	
	小森 俊介	追悼の辞	
論説	濱田 和樹	利益計画へのAHPの適用 -集団決定を行う場合について-	1~23
論説	土方 久	動態論の構造・覚え書	25~48
論説	平田 正敏	OA論の視座としてのエンゲルバード・モデルの一吟味	49~85
論説	小島 平夫	The Structure Changes in the Yen-Dollar Real Exchange Rates	87~132
論説	小森 俊介	マーケティング論精緻化に関する一考察	133~159
論説	小川 雄平	東北アジアの地方間経済交流と北部九州の経済協力	161~182
論説	田代 義範	P.F.ドラッカー『新しい現実』について	183~193
論説	米山 茂美	日本企業によるサプライヤー評価の特殊性 -アジアNIEs企業へのインプリケーション-	195~212
論説	吉武 春光	広域ネットワークへの接続技術	213~234
論説	杉原 実	税	235~259
研究ノート	渦原 実男	生活者志向へのマーケティング適応の一考察 -食品でのライフスタイル提案事例の調査研究-	261~285

種別	著者	論 題	頁
資料	野藤 忠	経営史へのアプローチ	287~317
資料	岡本 幸雄	明治前期綿糸紡績関係史料 - 堺紡績所・桑原紡績所・名古屋紡績会社について -	319~374
40巻3号 (1994年1月)			
論説	土方 久	動態論と貸借対照表能力 (I)	1~15
論説	佐々木武夫	経営環境と安定雇用	17~54
論説	田中謙一郎	オフィス生産性再論	55~80
研究ノート	野藤 忠	ドイツにおける経営史	81~119
40巻4号 (1994年3月)			
論説	土方 久	動態論と貸借対照表能力 (II)	1~16
論説	平田 正敏	OA理論の新しい模型を求めて	17~80
論説	野藤 忠	エルンスト・アッペの社会貢献思想	81~107
論説	佐々木武夫	Corporate Society and Human Resources Management	109~131
論説	米山 茂美	Inter-firm Environment of Innovation : A Conceptual Framework	133~156
論説	吉武 春光	退院サマリの自動理解システム	157~171
研究ノート	渦原 実男	マーケティング・プロモーションと流通政策 - 景品や表示の規制を中心に -	173~191
資料	岡本 幸雄	官営新町紡績所払下げ関係史料 - 三井 (三越右衛門) への払下げについて -	194~228
41巻1号 (1994年6月)			
論説	土方 久	動態論と貸借対照表能力 (III)	1~25
論説	野藤 忠	社会性志向の経営思想	27~63
論説	竹林 明	新技術と人事・労務管理制度	65~87
論説	田中謙一郎	流通部門における経営効率性の比較	89~119
論説	田代 義範	経営倫理 - 状況的アプローチ -	121~140
資料	渦原 実男	商店街の情報システムの調査研究 - させば四ヶ町商店街のケーススタディー	141~174
41巻2号 (1994年10月)			
論説	平田 正敏	経営分析におけるDEA の適用に関する問題	1~43
論説	野藤 忠	旧東ドイツ国営企業の民営化	45~67
論説	竹林 明	技術革新が人事労務管理制度に及ぼす影響	69~101
論説	麻 彦春	中国における企業経営メカニズム転換問題	103~117

種別	著者	論 題	頁
41巻3号 (1994年10月)			
論説	濱田 和樹	企業における業績評価システムについて - 非財務的尺度の重要性と総合評価のための一方法 -	1~23
論説	稲見 亨	国際会計基準 (IAS) に対するドイツの反応	25~40
論説	伊藤 龍峰	特記事項に関する一考察 - 偶発事項との関連で -	41~58
研究ノート	野藤 忠	アメリカ経営史学の源流	59~84
研究ノート	渦原 実男	物流サービスの概念整理	85~110
論説	岡本 幸雄	明治前期綿糸紡績機械の国産化問題	1~29
41巻4号 (1995年3月)			
論説	平田 正敏	ローレルの『コンピュータ劇場論』の吟味	1~51
資料	岡本 幸雄	明治前期綿糸紡績関係史料 - 玉島紡績所・佐賀物産会社、三重紡績所史料 -	1~36
論説	田中謙一郎	銀行の経営効率の改善案をめぐって	53~80
論説	辻 和夫	公共企業の政府管制と経営責任	81~103
論説	麻 彦春	中国東北地域の自動車産業の発展と課題	105~124
42巻1・2号 (1995年12月) 岡本幸雄教授古稀記念号			
		岡本幸雄教授略歴および業績	
	田中 輝雄	祝辞 - 感謝を込めて -	
	土方 久	祝辞	
論説	後藤 泰二	「会社それ自体」論について	1~9
論説	濱田 和樹	顧客の要求品質に基づいた原価の作り込み	11~33
論説	土方 久	簿記の歴史・覚え書	35~47
論説	平田 正敏	2つのOAコンセプト	49~83
論説	小島 平夫	先物為替取引下の多国籍企業による生産と貿易 - ミクロ経済学的解析 -	85~109
論説	西野 宗雄	株式出資と貨幣併用	111~154
論説	野藤 忠	東西ツァイス社の合併	155~177
論説	佐々木武夫	日本的経営と雇用の異質化	179~201
論説	田代 義範	社会的責任否定論 [I] - John R. Danley の場合 -	203~218
論説	吉武 春光	WWWサーバーの構築	219~229
論説	米山 茂美	Structural Inertia of Young and Small Organizations : Reinterpretation of the Liability of Adolescence	231~265

種別	著者	論 題	頁
論説	稲見 亨	国際会計基準 (IAS) を背景としたドイツ会計学説に関する一考察 - J.Baetgeの所説を中心に -	267~286
論説	立石 揚志	対中国直接投資の現状と展望	287~305
論説	麻 彦春	ガット復帰が中国の経済発展に及ぼす影響	307~327
資料	小川 雄平	「戦後50年 日・中・韓の学生意識調査」の集計結果について	329~351
資料	岡本 幸雄	明治期「十基紡」績所関係史料 - 下村・遠州・長崎・下野・豊井・市川績所 -	354~386
42巻3・4号 (1996年2月) 後藤泰二教授古稀記念号			
		後藤泰二教授略歴および業績	
	田中 輝雄	祝辞 - 感謝を込めて -	
	土方 久	祝辞	
論説	後藤 泰二	証券市場と信用	1~11
論説	濱田 和樹	品質機能展開による原価の作り込み	13~38
論説	土方 久	貸借対照表能力の実相	39~61
論説	平田 正敏	続・2つのOAコンセプト	63~120
論説	小森 俊介	顧客志向市場行動論序説 - パラダイムシフトに関連させて -	121~153
論説	西野 宗雄	中央銀行と不換銀行券 - 公信用・国民的信用および私的信用 -	155~170
論説	野藤 忠	ツァイス経営精神の継承	171~208
論説	小川 雄平	朝鮮経済と国境貿易	209~222
論説	田代 義範	社会的責任否定論 [II] - John R. Danleyの場合 -	223~238
論説	辻 和夫	公経営査察機構の一考察	239~262
論説	山口 稲生	基本等式の会計構造	263~286
論説	伊藤 龍峰	適正性概念とGAAP準拠性	287~302
論説	渦原 実男	価格破壊と流通革新の一考察 - 紳士服でのローコスト経営を中心に -	303~330
論説	稲見 亨	EC第4号指令の加盟国国内法化と選択権	331~351
論説	立石 揚志	中国経済の発展方向と対中投資の展望	353~371
論説	岡本 幸雄	士族授産事業の一考察 - 筑前国福岡「筑陽社」の創設事業と経営 -	374~404

種別	著者	論 題	頁
43巻1号 (1996年6月)			
論説	土方 久	動態論と複式簿記	1~13
論説	小島 平夫	為替レート,直接投資,輸出のVAR分析 - 企業規模・経営資源を考慮外とした予備的考察 -	15~68
論説	野藤 忠	ツァイスの制作精神	69~88
論説	田中謙一郎	不良債権額による健全性指標構築の試み	89~104
論説	米山 茂美	持続的競争優位の源泉としての変革能力 - キヤノンにおけるプリンタ技術開発の事例分析 -	105~168
研究ノート	渦原 実男	流通環境の変化と共同店舗の課題	169~191
43巻2号 (1996年9月)			
論説	濱田 和樹	TOC (制約理論) の管理会計上の意義	1~24
論説	野藤 忠	アッペの研究開発活動	25~48
論説	稲見 亨	ドイツからみたEU会計調和化の新たな論点 - 欧州裁判所の決定権限に関するMoxterの見解を中心に -	49~59
論説	渦原 実男	総合ディスカウントストアの特性の研究	61~82
資料	土方 久	1985年のドイツ商法と貸借対照表能力 (I)	83~107
43巻3号 (1996年11月)			
論説	平田 正敏	OAの進化と企業経営	1~82
論説	野藤 忠	カール・ツァイスの職人芸	83~99
論説	邵 桂鳳	Recovery of the Connection Relationship among Two-dimensional Objects Based on Partial Curve Matching	101~137
研究ノート	稲見 亨	ドイツ会計問題に対する欧州裁判所法務官の見解 - 1996年1月25日付「最終意見書」の検討 -	139~147
研究ノート	渦原 実男	商業集積と街づくりの一考察 - 流通政策と都市政策の融合化の検討 -	149~170
43巻4号 (1997年3月)			
論説	野藤 忠	ツァイスレンズの研究開発と販路開拓	1~20
論説	佐々木武夫	リビジョニストと日本型企业社会批判	21~45
論説	田代 義範	経営倫理 - W.A.フレンチらの所論について -	47~69
論説	立石 揚志	対中国直接投資と中国各地の地域間競争 - 環黄海経済圏形成の可能性 -	71~95
研究ノート	渦原 実男	地場産業のマーケティング戦略と復興策の一考察 - 福岡県の博多人形産地のケーススタディ -	97~140
44巻1・2号 (1997年12月) 平田正敏教授古稀記念号			
		平田正敏教授略歴および業績	

種別	著者	論 題	頁
	田中 輝雄	祝辞 -感謝を込めて-	
	小川 雄平	祝辞 -古稀記念号の発刊によせて-	
論説	平田 正敏	OA進化論3段階論の帰結	1~37
論説	濱田 和樹	管理会計技法の展開の一方	39~63
論説	土方 久	貸借対照法評価の価額問題 -価額論争の経緯-	65~93
論説	小島 平夫	日本の海外直接投資、輸出の変動因 -産業規模・経営資源を基軸とした標準型・構造型VAR 分析-	95~157
論説	西野 宗雄	諸資本の論争と貨幣信用	159~187
論説	野藤 忠	ツァイス経営史の原点と軌跡	189~224
論説	佐々木武夫	炭住社会から強いられた通勤社会へ -筑豊の産業構造と社会移動-	225~244
論説	田中謙一郎	銀行の経営効率の推移	245~283
論説	田代 義範	経営倫理 [I] -S.クラインの理論-	285~296
論説	吉武 春光	WWWサーバーにおける広域キャッシュ	297~315
論説	渦原 実男	共同店舗の特性と今後の方向性	317~351
論説	Guifeng Shao	Extraction of Multiple Colored and Textured Objects Based on Optic Stimuli	353~379
論説	井手 順子	次期SAINSにおけるパソコンの利用者認証システム	381~401
44巻3・4号（1998年2月）辻和夫教授古稀記念号			
		辻和夫教授略歴および業績	
	田中 輝雄	祝辞 -感謝を込めて-	
	小川 雄平	祝辞 -古稀記念号の発刊によせて-	
論説	辻 和夫	公社管制に関する若干の批判的考察	1~19
論説	濱田 和樹	顧客満足と従業員満足の同時達成のためのマネジメント・ システム -原価との関係を中心として-	21~42
論説	土方 久	貸借対照表評価の選択権問題 -秘密積立金政策の転換-	43~72
論説	平田 正敏	「個別資本の意識性」とは何か	73~125
論説	伊藤 龍峰	経営者不正と監査	127~140

種別	著者	論 題	頁
論説	西野 宗雄	商業信用と商業手形 －商業信用についての第1考察－	141~172
論説	野藤 忠	ツァイス頭脳の連行	173~196
論説	小川 雄平	地方間経済交流と東アジア地中海経済圏	197~207
論説	田代 義範	経営倫理〔Ⅱ〕 －S.クラインの理論－	209~222
論説	山口 稲生	基本等式と会計構造（Ⅱ） －H.ルフチ理論の検討－	223~242
論説	稲見 亨	国際会計基準（IAS）とドイツ商法の改正案 －1996年6月7日付の「資本調達容易化法」法務省案をめぐって－	243~258
論説	渦原 実男	総合スーパーのマーケティングの現状と課題	259~273
論説	王 忠毅	日本の海外金融子会社による資金調達の効率性に関する実証分析 －グループ金融を中心として－	275~292
論説	尹 竹	中国の大型企業集団による国有資産授權経営	293~301
45巻1号（1998年6月）			
論説	土方 久	貸借対照表評価の価額問題（Ⅱ） －価額論争の終息－	1~31
論説	立石 揚志	新局面を迎えた中国投資に関する一考察	33~56
研究ノート	野藤 忠	企業者活動の本質	57~87
研究ノート	稲見 亨	ドイツ会計問題に対する欧州裁判所判決 －“Tomberger”事件に関する判決主文及び一部判決訂正－	89~97
資料	稲見 亨	ドイツ会計問題に対する連邦通常裁判所判決 －“Tomberger”事件に関する1998年1月12日付判決－	99~105
45巻2号（1998年9月）			
論説	濱田 和樹	予算管理における戦略的視点の重要性	1~23
論説	伊藤 龍峰	わが国監査基準・準則における監査人の役割 －不正問題への対応に関連して－	25~41
論説	野藤 忠	ツァイス・オプトン社の設立	43~57
論説	田中謙一郎	同期管理におけるバッファの役割	59~80
論説	田代 義範	企業の倫理性	81~99
論説	野藤 忠	ドイツにおける「会計基準」の設定をめぐる議論 －連邦法務省参事官H.Bienerの所論の検討－	101~113
論説	王 忠毅	内部化理論の財務的接近 －日本企業の海外直接投資を中心として－	115~135

種別	著者	論 題	頁
論説	井手 順子 杉 剛直 中村 政俊 柴崎 浩	ランダム変動視標によるヒトの手の追跡運動機能学習効果の解析 －双線形モデルを用いた定量評価－	137~155
45巻3・4号 (1999年2月)			
論説	西野 宗雄	商業信用の生成と展開 －商業信用についての第2考察－	1~39
論説	田中謙一郎	自動車産業の経営効率	41~68
論説	田中謙一郎	T.ドナルドソン等の社会契約論とステイクホルダー論	69~84
論説	稲見 亨	EU会計調和化を背景にしたドイツの引当金問題 －一括引当金をめぐる1997年7月16日付のケルン財政裁判所付託決定の検討－	85~99
研究ノート	野藤 忠	『ツァイス企業家精神』の概論	101~118
資料	渦原 実男	米国におけるマーケティングと商業政策の現状と今後の課題	119~132
翻訳	田代 義範	野藤 忠著『ツァイス企業家精神』	133~138
46巻1号 (1999年6月)			
論説	濱田 和樹	総合的マネジメントと管理会計 －トップダウン型経営とエンパワメント型経営－	1~24
論説	野藤 忠	イエナ・ツァイス社再建時の状況	25~40
論説	田代 義範	企業における法と倫理	41~52
論説	稲見 亨	ドイツの正規の簿記の諸原則と欧州裁判所 －ドイツ会計制度に対する欧州裁判所の“Tomberger”判決の帰結－	53~62
論説	王 忠毅	中国東北国有企業の会計について －資金調達を中心として－	63~81
論説	藤岡 豊	技術の逆移転の概念	83~110
論説	立石 揚志	対中国直接投資の現状と物流問題	111~146
論説	邵 桂鳳	New Approaches to Detect Dominant Point of Digital Shapes	147~167
研究ノート	稲見 亨	ドイツの税務会計問題と欧州裁判所 －1998年9月9日付の連邦財政裁判所第I部の決定(IR6/96)の検討－	169~178
46巻2号 (1999年10月)			
論説	野藤 忠	東のツァイス社の民営化	1~24
論説	佐々木武夫	女性労働と雇用機会均等の現状 －「平成10年度福岡県女性労働実態調査」より－	25~49
論説	田代 義範	経営倫理コード	51~65

種別	著者	論 題	頁
論説	渦原 実男	米国でのマーケティング環境の変化と小売業の対応 -小売環境の現状分析とトイザラスを中心に-	67~127
論説	藤岡 豊	技術の逆移転の暫定的分析視角	129~151
論説	平木 真朗	経済構造改革が企業別労使関係に及ぼす影響	153~173
資料	渦原 実男	小売業の国際化研究序説 -N.アレキサンダーの所説-	175~195
46巻3・4号 (2000年2月) 田代義範教授古稀記念号			
		田代義範教授略歴および業績	
	村上 隆太	祝辞	
	野藤 忠	祝辞 -古稀記念号の発刊によせて-	
論説	濱田 和樹	知的資産管理の管理会計学的考察	1~20
論説	土方 久	静態論の財産計算	21~32
論説	伊藤 龍峰	地方自治体への外部監査制度の導入と監査基準	33~48
論説	小島 平夫	日本企業海外進出の決定要因 -内部化の費用便益分析-	49~84
論説	小森 俊介	「日本的」マーケティングに関する一考察 (序)	85~100
論説	西野 宗雄	商品品質差別化競争と開発信用 -マーケット概念の展開と交換の諸法則 (2) -	101~137
論説	野藤 忠	アッペの経営哲学	139~166
論説	小川 雄平	日韓自由貿易地域構想と「東アジア地中海経済圏」	167~178
論説	佐々木武夫	女性労働と雇用環境改善の現状 -「平成10年度福岡県女性労働実態調査」より-	179~203
論説	山口 稲生	貸借複式簿記の構造と基本等式	205~227
論説	稲見 亨	ドイツにおける会計基準設定主体の成立と国際資本市場対応 -1997年11月27日付の報告書「資本市場コンセプト」の検討を中心に-	229~243
論説	王 忠毅	タックス・ヘイブンの利用による節税効果	245~262
論説	藤岡 豊	技術の逆移転の定量的分析 -欧米系多国籍企業に対する質問票調査をつうじて-	263~300
論説	平木 真朗	組織・人事雇用制度改革に対するユニオン・リーダーの意識	301~328
論説	三浦 雅洋	組織を行動主体として分析するためのフレームワーク	329~346
論説	井手 順子 杉 剛直 中村 政俊 柴崎 浩	ヒトの手の視標追跡運動機能学習効果の病態別特徴定量評価	347~361

種別	著者	論 題	頁
47巻1号 (2000年6月)			
論説	土方 久	動態論の損益計算	1~17
論説	稲見 亨	資本金社&Co.指令法 (KapCoRiLiG) にみるドイツ会計制度の国際適応 - 商法典第292a条の修正に焦点を当てて -	19~37
論説	小沢 浩	管理活動の3類型と管理システムの選択パターン	39~65
論説	立石 揚志	中国の現状認識 - 貿易・投資の側面から -	67~92
研究ノート	野藤 忠	経営者企業の生成	93~114
資料	佐々木武夫	IMF経済危機と韓国の労使関係	115~144
資料	藤岡 豊	技術の逆移転に関する質問票	145~169
47巻2号 (2000年10月)			
論説	土方 久	簿記の構造・覚え書	1~17
論説	野藤 忠	ツァイス経営史研究の経過	23~43
論説	佐々木武夫	日本型経営参加と共同生活体の論理	45~78
論説	史 一華 徐 海燕	WEB型統合学習管理システムの構築	79~94
論説	小川 浩昭	保険経済学の課題と方法	95~130
論説	立石 揚志	海外直接投資 - アジアネットワークと中国 -	131~153
47巻3号 (2001年2月)			
論説	田中謙一郎	DEAとは何か	1~19
論説	渦原 実男	米国におけるGMS小売業態の衰退化と新たな取り組み - シアーズ (Sears) 社での小売技術開発の試みを中心に -	21~47
論説	吉武 春光	高信頼RAIDシステムの構築	59~74
47巻4号 (2001年3月)			
論説	野藤 忠	経営経済学の生成	1~29
論説	田中謙一郎	マルチエージェントとシュガーモデル	31~40
論説	三浦 雅洋	組織変革における3つのレベルデザイン	41~69
論説	西田 顕生	法済制度における公と民 - 1960年代から80年代の米国を対象として -	71~106
48巻1号 (2001年6月)			
論説	小島 平夫	家計所得と企業収益の分散シフト／平均シフト検出 - 因果関係研究の予備考察 -	1~30

種別	著者	論 題	頁
論説	稲見 亨	Die Zwecke und die rechtlichen Grundlagen des japanischen Rechnungswessens - im Vergleich zu Deutschland -	31~52
論説	小川 浩昭	Alternative Risk Transfar の理論的考察	53~102
48巻2号 (2001年10月)			
論説	土方 久	ドイツ固有の簿記の成立 - Grammateus, Henricus 1518年 -	1~30
論説	野藤 忠	東のツァイス社の歩み	31~62
論説	田中謙一郎	自動車メーカーの経営効率分析	63~83
論説	西田 顕生	国債決済における公と民 - 1980年代以降の米国を対象として -	85~106
論説	立石 揚志	中台経済関係と日本企業	115~143
48巻3・4号 (2002年2月) 山口稲生教授古稀記念号			
		山口稲生教授略歴および業績	
	村上 隆太	祝辞 - 山口稲生教授古稀記念号 挨拶 -	
	佐々木武夫	祝辞 - 古稀記念号の発刊に寄せて -	
論説	濱田 和樹	企業間管理と管理会計 - SCMを対象として -	1~22
論説	土方 久	ドイツ固有の簿記の展開 - Gottlieb, Johann 1531年 -	23~52
論説	伊藤 龍峰	国際監査基準と特記事項	53~67
論説	小島 平夫	家計所得と企業収益の因果関係 - 分散シフト/平均シフト及び準構造を考慮に入れたVAR分析 -	69~96
論説	野藤 忠	アッペの経営思想とドイツ経営経済学	97~139
論説	渦原 実男	米国ウォルマート社の小売業態開発の展開	141~187
論説	山口 稲生	複式簿記の増減構造	189~210
論説	藤岡 豊	多国籍企業の知識戦略 - 知識結合と知識移転の観点から -	211~258
論説	稲見 亨	コーポレート・ガバナンス改革論にみるドイツ会計制度の国際適合	259~274
論説	三浦 雅洋	基本的な適応メカニズムとしての計画立案と学習	275~299
論説	小川 浩昭	ファイナンシャル (再) 保険の理論的考察	301~317
論説	王 忠毅	日系多国籍企業の海外金融子会社と内部資本市場 - 松下電器産業の事例を中心に -	319~336

種別	著者	論 題	頁
論説	小沢 浩	セル生産のマネジメント・コントロール的理解に向けて	337~354
49巻1号 (2002年6月)			
論説	土方 久	ドイツ固有の簿記の発展 -Gottlieb, Johann 1546年-	1~38
論説	野藤 忠	アッペの経営思想と経営社会政策論	39~70
論説	立石 揚志	WTO加盟後の中国	71~89
研究ノート	土方 久	ドイツ固有の簿記の展開 -von Ellenbogen, Erhart 1537年-	91~120
49巻2号 (2002年9月)			
論説	土方 久	ドイツ固有の簿記の発展 (Ⅱ) -Gottlieb, Johann 1546年-	1~33
論説	吉武 春光	電子メールからのナレッジ・リサイクルの試み	35~49
研究ノート	土方 久	ドイツ固有の簿記の展開 (Ⅱ) -von Ellenbogen, Erhart 1537年-	51~70
研究ノート	稲見 亨	ドイツにおける会計国際化法案	71~91
49巻3・4号 (2003年3月)			
論説	稲見 亨	ドイツの引当金会計問題に対する欧州裁判所の決定権限について -1999年9月14日付のDE+ES判決の検討を中心に-	1~11
論説	西野 宗雄	銀行増資問題とその解決によせて -現代の銀行と信用にかんする諸考察 (その一)-	13~50
論説	野藤 忠	ワルター・ラテナウの経営思想	51~85
論説	藤岡 豊	多国籍企業における知識移転 -文献展望と分析視角-	87~121
論説	三浦 雅洋	学習戦略論の展望と課題	123~144
論説	小川 浩昭	社会保障の保険学的考察	145~186
論説	王 忠毅	中国東北上場企業のコーポレート・ガバナンス	187~207
論説	立石 揚志	中国ビジネス講座	209~227
50巻1・2号 (2003年9月)			
論説	土方 久	ドイツ固有の簿記の残影 -Kaltenbrunner, Jacob 1565年-	1~29
論説	野藤 忠	早創期の東西ツァイス社の動向	31~55
論説	三浦 雅洋	1990年代以降におけるカイシャの経営課題とその対応	57~76
論説	小川 浩昭	予定利率引下げ問題についての予備的考察	77~107
研究ノート	土方 久	ドイツ簿記の16世紀 -印刷本の年表と目録-	109~138

種別	著者	論 題	頁
50巻3号 (2003年12月)			
論説	土方 久	ドイツ簿記とイタリア簿記の交渉 -Schweicker, Wolfgang 1549年-	1~22
論説	野藤 忠	国営企業ツァイスVS財団企業ツァイス	23~41
論説	藤岡 豊	子会社を基点とした多国籍企業のイノベーション -文献展望と分析視角-	43~75
論説	小川 浩昭	改正保険業法の考察 -既契約の予定利率引下げ-	77~117
論説	高橋 聡	企業を取り巻く状況と無形財の価値評価	119~139
50巻4号 (2004年2月)			
論説	土方 久	ドイツ簿記とイタリア簿記の交渉 (Ⅱ) -Schweicker, Wolfgang 1549年-	1~36
論説	Hirao KOJIMA	On the Determinants of Japanese Business Entry into the North American Market A Panel Data Econometric Analysis	37~93
論説	西野 宗雄	無担保融資と事業用不動産保有機構の創設 -現代の銀行と信用にかんする諸考察 (その二) -	95~123
論説	野藤 忠	エルンスト・アッペの研究と実践	125~146
論説	藤岡 豊	多国籍企業の戦略と組織 -子会社の役割と進化に焦点をあてて-	147~195
論説	高橋 聡	無形財会計の現状と課題	197~225
51巻1号 (2004年7月)			
論説	土方 久	ドイツ簿記とイタリア簿記の交渉 (Ⅲ) -Schweicker, Wolfgang 1549年-	1~59
論説	稲見 亨	国際会計基準 (IAS) への2005年対応に向けたドイツの会計 制度改革 -2003年12月15日付の「会計法改革法」財務省案の検討-	61~81
論説	佐々木武夫	グローバル・スタンダードと社会的影響 -二つのファンダメンタリズムとグローカリズム-	83~103
論説	渦原 実男	商店街の再生とコミュニティ・ビジネス	105~135
資料	土方 久	16世紀における複式簿記の風景	137~171
51巻2号 (2004年9月)			
論説	土方 久	イタリア簿記の原型 -Pacioli, Luca 1494年-	1~44
論説	野藤 忠	エルンスト・アッペの経営構想	45~69
論説	小川 雄平	日韓自由貿易協定 -地方版自由貿易協定の視角から-	71~88
論説	高橋 聡	無形財の開示に関する事例研究	89~114

種別	著者	論 題	頁
51巻3・4号 (2005年2月)			
論説	土方 久	イタリア簿記の原型 (Ⅱ) - Pacioli, Luca 1494年 -	1~34
論説	Hirao KOJIMA	Building a Business Time-series Forecasting System With the Intervention Analysis of Japanese Yen Exchange Rate Behavior	35~100
論説	野藤 忠	カールツァイス経営精神の継承	101~126
論説	立石 揚志	「食と農」から考える九州と中国の共生	127~144
論説	藤岡 豊	多国籍企業の国際研究開発の現状 - 市場志向から技術志向へ -	145~187
論説	三浦 雅洋	レベル3の組織変革事例1:1999年 - 2003年における日産自動車 の組織変革	189~231
論説	小川 浩昭	相互会社の現代的考察	233~258
資料	許 珉寧(著) 佐々木武夫(訳)	現代グループにおける労使関係の動態 - 1987年から1999年にかけての変化を中心に -	259~291
52巻1号 (2005年6月)			
論説	土方 久	ドイツにおけるイタリア簿記の発展 - Goessens, Passchier 1594年 -	1~25
論説	野藤 忠	社会的使命と経営思想	27~57
論説	藤岡 豊	多国籍企業の国際研究開発の新たな分析視角 - 要因・目的・効果の観点から -	59~97
論説	小川 浩昭	保険学と隣接科学 - 社会保障論・社会政策学の社会保険 -	99~123
論説	高橋 聡	無形財の会計的側面	125~138
52巻2号 (2005年9月)			
論説	土方 久	ドイツにおけるイタリア簿記の発展 (Ⅱ) - Goessens, Passchier 1594年 -	1~41
論説	野藤 忠	日本におけるカールツァイス社の事業活動	43~66
論説	藤岡 豊	国際研究開発マネジメントの動的的理解 - 海外研究所の進化に即して -	67~99
論説	小川 浩昭	現代における保険の本質	101~136
論説	高橋 聡	資産の評価概念と無形財の価値評価	137~154
52巻3号 (2005年12月)			
論説	土方 久	ドイツにおけるイタリア簿記の発展 (Ⅲ) - Goessens, Passchier 1594年 -	1~48
論説	稲見 亨	EUにおける国際会計基準 (IAS) の法的側面 - ドイツ会計制度の視点から -	49~65

種別	著者	論 題	頁
論説	野藤 忠	日本におけるツァイスイコンカメラの創造	67～89
論説	佐々木武夫	ポスト開発社会のダイナミズムとディレンマ －韓国における労働法改正過程と労働者の政治参加－	91～120
論説	田中謙一郎	経営危険度の判別分析	121～137
論説	三浦 雅洋	レベル1の組織変革事例1：2000年～2004年における松下電 器産業の組織変革	139～188
論説	齋藤 靖	JCO臨界事故のミクロ分析とその限界	189～224
論説	龐 徳良	1990年代日本の公共投資と経済成長 －景気調整機能を中心として－	225～239
52巻4号 (2006年2月)			
論説	土方 久	ドイツにおけるイタリア簿記の展開 －Sartorium, Wolfgangum 1592年－	1～28
論説	野藤 忠	ツァイスイコン経営史	29～57
論説	小川 浩昭	保険の相互扶助性について	59～98
論説	王 忠毅	日系多国籍企業の資金調達戦略 －内部資本市場を中心として－	99～122
論説	藤岡 豊	国際研究開発の構造類型 －準トランスナショナル組織の構築－	123～158
論説	三浦 雅洋	企業成長論における組織インテリジェンスの概念	159～177
論説	立石 揚志	アジアの中の日本と中国 －FTA/EPA and FDI－	179～193
研究ノート	伊藤 龍峰	会計参与制度について	195～207
資料	齋藤 靖	JCO臨界事故の発生とその影響	209～240
53巻1号 (2006年6月)			
論説	土方 久	ドイツにおけるイタリア簿記の展開 (Ⅱ) －Sartorium, Wolfgangum 1592年－	1～23
論説	齋藤 靖	“不適切な「介入」”の可能性 －高リスク組織研究との関連から－	25～62
研究ノート	野藤 忠	イエナカールツァイス財団定款	63～115
53巻2号 (2006年9月)			
論説	土方 久	ドイツにおけるイタリア簿記の展開 (Ⅲ) －Sartorium, Wolfgangum 1592年－	1～38
論説	王 忠毅	日系多国籍企業の企業内貿易と企業パフォーマンス	39～60
論説	渦原 実男	米国での小売業態革新の研究	61～92
論説	高野 学	総合通信事業者へと変貌したソフトバンクの経営分析	93～120

種別	著者	論 題	頁
53巻3・4号 (2007年2月) 小森俊介教授古稀記念号			
		小森俊介教授略歴および業績	
	G.W.パークレー	祝辞 -小森俊介教授古希記念号 挨拶-	
	伊藤 龍峰	祝辞 -古希記念号の発刊に寄せて-	
論説	濱田 和樹	グループ本社役割とグループ業績評価システム -特に、マトリクス評価システムを中心として-	1~23
論説	土方 久	ドイツにおけるイタリア簿記の再生 -Gamersfelder, Sebastian 1570年-	25~79
論説	稲見 亨	EUにおける国際会計基準のエンドースメント -EUの公的文書にみるそのメカニズム-	81~99
論説	西野 宗雄	銀行業部門における諸銀行の競争 諸銀行の競争についての予備的な考察	101~124
論説	野藤 忠	経営史学生成の背景	125~153
論説	小川 浩昭	保険・金融のイノベーション	155~190
論説	田中謙一郎	経営危険度とニューラル・ネットワーク	191~209
論説	吉武 春光	SDRT による談話の意味記述 -e-Learningにおける回答中の類似度推定に向けて-	211~238
論説	飴野 仁子	東アジアにおけるロジスティクスの高度化と物流システム	239~261
論説	鄭 義哲	成長機会価値に対する研究開発投資と変動性の効果	263~285
論説	高野 学	総合通信事業者3社の経営分析	287~324
論説	立石 揚志	東アジア共同体構想	325~339
研究ノート	齋藤 靖	航空交通管制システムの発展プロセス	341~381
54巻1号 (2007年6月)			
論説	福浦 幾巳	租税判例における「役員給与」規制の回顧と動向	1~26
論説	土方 久	ドイツにおけるイタリア簿記の再生 (II) -Gamersfelder, Sebastian 1570年-	27~79
論説	小川 浩昭	保険における偶然性とリスク	81~98
54巻2号 (2007年9月)			
論説	藤岡 豊	技術の逆移転の3つの要因 -技術特性・組織特性・統合メカニズム-	1~48
論説	土方 久	ドイツにおけるイタリア簿記の再生 (III) -Gamersfelder, Sebastian 1570年-	49~106
論説	小川 浩昭	金融論的保険分析の批判的考察	107~142
論説	鄭 義哲	研究開発投資を巡る実証研究のレビュー	143~164

種別	著者	論 題	頁
論説	高野 学	電気通信事業におけるユニバーサル・サービス基金制度 - 基金の算定方法を中心として -	165~192
54巻3号 (2007年12月)			
論説	土方 久	複式簿記会計への進化 - 17世紀から19世紀までの単式簿記と複式簿記 -	1~42
論説	野藤 忠	20世紀初頭のカールツァイス社の経営活動	43~73
論説	王 忠毅	日本企業による対中投資の資金調達と企業内取引 - 移転価格問題の再評価 -	75~94
論説	齋藤 靖	規則の垂直的不整合 - 「常陽」第3次操業の事例分析 -	95~150
論説	鄭 義哲	研究開発投資とリスクとの関係について : 設備投資との比較分析	151~168
資料	土方 久	16世紀から18世紀までにドイツに出版される簿記の印刷本の目録	169~196
54巻4号 (2008年3月)			
論説	土方 久	複式簿記会計への進化 (Ⅱ) - 17世紀から19世紀までの単式簿記と複式簿記 -	1~43
論説	野藤 忠	経営者エルンスト・アッペの生涯	45~76
論説	佐々木武夫	産業構造変動と雇用動態 - 北部九州における自動車産業とIC産業を事例として - (論文タイトルはハングル文字)	77~94
論説	高橋 聡	リース会計基準改正とセール・アンド・リースバック取引	95~118
論説	立石 揚志	新段階の中国経済	119~136
55巻1号 (2008年6月)			
論説	土方 久	複式簿記会計への進化 (Ⅲ) - 17世紀から19世紀までの単式簿記と複式簿記 -	1~58
論説	野藤 忠	経営学創造へのアイデアとヒント	59~97
論説	小川 浩昭	保険教育と保険学の体系 - カリキュラムの考察 -	99~150
論説	高橋 聡	リース会計基準改正とニューアプローチ	151~186
研究ノート	土方 久	複式簿記会計の歴史と論理 - ドイツ簿記の16世紀から複式簿記会計への進化 -	187~205
55巻2・3号 (2008年12月)			
論説	野藤 忠	エルンスト・アッペの経営の理想への思索	1~26
論説	小川 浩昭	『現代保険学 - 伝統的保険学の再評価』の論理	27~69
論説	田中謙一郎	「TOCとDBR」(生産性マネジメント・ノート (1))	71~88
論説	渦原 実男	ウォルマートの経営戦略転換とマーケティング	89~114

種別	著者	論 題	頁
55巻4号 (2009年3月)			
論説	Hirao KOJIMA	What Drives U.S. Outbound Foreign Direct Investment in the Asian and Pacific Region? - Industry-Level Evidence from A Panel Data Study -	1~56
論説	野藤 忠	エルンスト・アッペの経営の理想の追求	57~90
論説	小川 浩昭	保険教育と保険学の体系 - テキストの考察 (戦前) -	91~178
論説	王 忠毅	日本企業による対中投資とその企業内取引に関する一考察 - 海外現地法人に対する所有政策を中心に -	179~202
論説	佐々木武夫	本田技研工業と成果主義の導入 - 1990年代における経営構造改革を事例として -	203~256
論説	吉武 春光	Prologを使ったSDRT表記の実現	257~304
論説	高橋 聡	無形会計のゆくえ	305~328
論説	高野 学	「原価計算基準」における価格計算目的の意義	329~351
論説	佐藤 正弘	消費の目的と文脈を考慮した製品選択	353~374
56巻1号 (2009年6月)			
論説	福浦 幾巳	電子帳簿保存における法規制の現状と諸問題	1~27
論説	小川 浩昭	保険原理論 - レクシスの原理と二大原則 -	29~60
論説	福田 晴仁	地方鉄道における貨物輸送の意義	61~76
論説	福島 一矩	日本企業における標準原価計算の歴史的展開 - 実態調査の文献サーベイに基づく考察 -	77~97
論説	王 暁華	3PL配送センターのシミュレーション分析	99~117
56巻2号 (2009年9月)			
論説	小川 浩昭	保険教育と保険学の体系 - テキストの考察 (戦後初期) -	1~34
論説	高野 学	グループ経営のための連結会計情報	35~53
研究ノート	福浦 幾巳	リーガル・マインドの醸成からみた簿記・会計教育の問題点	55~70
56巻3・4号 (2010年3月)			
論説	藤岡 豊	未曾有の経済危機のなかの世界の自動車産業 - 再編の幕開け -	1~30
論説	土方 久	記録の起源と複式簿記の記録	31~48
論説	Hirao KOJIMA	Do Prices Determine Exchange Rate? : The Japanese Evidence for Purchasing Power Parity	49~120
論説	野藤 忠	エルンスト・アッペの経営の理想の実現	121~153
論説	小川 浩昭	保険本質論の研究動向	155~214

種別	著者	論 題	頁
論説	佐々木武夫	非正規労働の増加と成果主義の導入 -「働き方」の〈多様化〉と〈戦力化〉の動向をめぐって-	215~250
論説	王 忠毅	中国の経済発展における外資系企業の影響 -中国東北地域を中心に-	251~270
論説	西田 顕生	私募債市場の日本的意義	271~299
論説	立石 揚志	中国動向分析2009	301~326
57巻1号 (2010年6月)			
論説	土方 久	記録の起源と複式簿記の記録 (Ⅱ)	1~27
論説	佐藤 正弘	顧客満足研究の歴史的変遷	29~58
論説	福島 一矩	日本企業における原価管理手法の実証研究:標準原価管理と 物量管理を中心として	59~75
書評	小川 浩昭	書評:池尾和人『現代の金融入門』新版, 筑摩書房, 2010 年2月10日	76~93
57巻2号 (2010年9月)			
論説	土方 久	記録の起源と複式簿記の記録 (Ⅲ)	1~28
論説	齋藤 靖	日本のER型救急医療システムの現状 -A病院を事例として-	29~53
論説	高野 学	価格計算目的が「原価計算基準」に組み入れられた理由	55~71
資料	土方 久	19世紀のドイツに出版される簿記の印刷本の目録	73~100
57巻3号 (2010年12月)			
論説	土方 久	ドイツ固有の簿記の再考 -フォンエレンボーゲンの印刷本『プロシアの貨幣単位と 重量単位に拠る簿記』(改訂本), 1538年-	1~45
論説	小川 浩昭	保険研究の動向 -保険に直接的に関連する学会の動向-	47~72
論説	佐々木武夫	能力主義管理と職能資格制度の再検討	73~96
論説	田中謙一郎	Fordlandiaが示唆した未来 -日米自動車産業の光と影-	97~114
論説	吉武 春光	PHPフレームワークを使ったWebアプリの試作	115~135
論説	立石 揚志	中国動向分析2010-1	137~160
資料	土方 久	19世紀のドイツに出版される簿記の印刷本の目録 (Ⅱ)	161~193
57巻4号 (2011年3月)			
論説	土方 久	ドイツ固有の簿記の再説 -フォンエレンボーゲンの印刷本『プロシアの貨幣単位と 重量単位に拠る簿記』(初版本), 1537年-	1~39
論説	西野 宗雄	開発信用と「藻油」大量生産の展望 -現代の銀行と信用にかんする諸考察(その三)-	41~71
論説	野藤 忠	西野カールツァイスの躍進	73~93

種別	著者	論 題	頁
論説	小川 浩昭	保険研究の動向 －保険に間接的に関連する学会の動向－	95～129
論説	小川 雄平	超広域連携と日・中・韓の地域間経済協力	131～149
論説	王 忠毅	中国東北振興における外資系企業の役割	151～178
論説	宇田川元一	組織変革におけるストーリーテリングの意義 －問題分析志向からポジティブな未来志向へ－	179～194
論説	立石 揚志	中国動向分析2010－2	195～214
58巻1号 (2011年6月)			
論説	土方 久	ドイツ固有の簿記の融合 －ヴィルヘルムの印刷本『新しい算術書』,1596年－	1～37
論説	野藤 忠	カールツァイスのカメラ部門の変遷	39～82
論説	小川 浩昭	東日本大震災のリスク分析	83～106
58巻2号 (2011年9月)			
論説	土方 久	ドイツ固有の簿記の融合 (Ⅱ) －ヴィルヘルムの印刷本『新しい算術書』,1596年－	1～26
論説	渦原 実男	小売マーケティングの概念の研究	27～52
研究ノート	土方 久	16世紀におけるドイツ固有の簿記の研究 －複式簿記の歴史からその論理を求めて－	53～75
書評	小川 浩昭	書評:近見正彦=堀田一吉=江澤雅彦編『保険学』 －有斐閣、2011年5月、はしがき3+執筆者紹介2+目次6+本文255+事項索引16=282頁－	77～91
58巻3号 (2011年12月)			
論説	土方 久	ドイツ固有の簿記の融合 (Ⅲ) －ヴィルヘルムの印刷本『新しい算術書』,1596年－	1～22
論説	鄭 義哲	ストック・オプション導入の決定要因について：費用化前後の比較	23～38
書評	小川 浩昭	書評：大田康夫『バーゼル敗戦 銀行規制をめぐる闘い』 －日本経済新聞社、2011年5月、まえがき2+目次10+本文259+あとがき3+主な参考文献6+バーゼル委員会年表5=285頁－	39～51
58巻4号 (2012年3月)			
論説	土方 久	記録の起源と複式簿記の記録 (Ⅳ)	1～29
論説	野藤 忠	カールツァイスの経営目的	31～60
論説	小川 浩昭	原子力発電のモラル・ハザード	61～82
論説	田中謙一郎	商品普及過程とその欠測データの補完に関する一考察	83～98
論説	渦原 実男	小売業態展開とイノベーションの理論的研究	99～132
論説	高野 学	電気通信事業における相互接続料金とサンクコスト	133～149

種別	著者	論 題	頁
59巻1号 (2012年6月)			
論説	土方 久	記録の起源と複式簿記の記録 (V)	1~28
研究ノート	伊藤 龍峰	監査報告書改革の動向 - PCAOBコンセプト・リリースNo.2011 - 003を手掛かりとして -	29~49
書評	小川 浩昭	書評: 高橋康文『地震保険制度』金融財政事情研究会、2012年1月、はじめに2+目次5+本文224+資料27+事項索引3=261頁	51~58
59巻2号 (2012年9月)			
論説	土方 久	記録の起源と複式簿記の記録 (VI)	1~33
論説	田中謙一郎	エコカーの商品普及過程とその欠測値の多量代入法	35~48
書評	小川 浩昭	書評: 米山高生『リスクと保険の基礎理論』同文館出版2012年4月、まえがき2+目次12+本文238+練習問題 解答例21+あとがき2+索引4=279頁	49~59
59巻3・4号 (2013年3月) 土方久教授古稀記念号			
		土方久教授 経歴と研究業績	
	土方 久	謝辞	
	G.W.パークレー	祝辞 - 土方久教授古希記念号 挨拶 -	
	吉武 春光	祝辞 - 古希記念号の発刊に寄せて -	
論説	野藤 忠	カールツァイス財団の設立	1~27
論説	小川 浩昭	リスクファイナンス論の新展開	29~54
論説	王 忠毅	地域間企業内貿易の誘発効果に関する実証分析	55~83
論説	小野慎一郎	インプライド資本コストの推定に関する会計研究の動向	85~100
60巻1・2号 (2013年9月)			
論説	伊藤 龍峰	監査委員監査をめぐる諸問題 - 期末監査としての決算審査について -	1~15
論説	野藤 忠	カール・ツァイスの開業	17~42
論説	福島 一矩	管理会計と組織能力の関係性 - 管理会計能力の構築にむけて -	43~58
書評	小川 浩昭	経済敗戦を考える - アベノミクスは救世主か?	59~76
60巻3号 (2013年12月)			
論説	西野 宗雄	消費税増税と2014年世界同時不況 (仮説) - 現代の銀行と信用に関する諸考察 (その四) -	1~35

種別	著者	論 題	頁
論説	野藤 忠	エルンスト・アッペの学究生活	37～59
論説	小川 浩昭	自由化を考える －大学と損害保険業界の類似性－	61～102
論説	田中謙一郎	エコカーの商品普及過程と12種類の成長曲線	103～116
60巻4号 (2014年3月)			
論説	Yutaka Fujioka	R&D Strategy of MNCs against National Science Base and Business R&D Investment and Innovation around the World: An Analysis of OECD Statistics 2011	1～28
論説	野藤 忠	エルンスト・アッペの研究開発	29～53
論説	小川 浩昭	リスクマネジメントとその周辺	55～86
論説	齋藤 靖	組織研究におけるメカニズム・アプローチの展開 (I) －米国における議論と課題－	87～118
論説	佐藤 正弘	ソムリエ型マーケティング －選択を「目利き」に委ねる－	119～140
研究ノート	鄭 義哲	投資に及ぼすイデオシンクラティック・リスクの影響について	141～157
61巻1号 (2014年6月)			
論説	Yutaka Fujioka	Entrepreneurship and Internet Use for MNCs Seeking Attractive Locations for Innovation Activities : An Analysis of OECD Statistics 2011	1～30
論説	野藤 忠	エルンスト・アッペの光学ガラス研究	31～62
論説	福島 一矩	日本企業における業績管理に関する組織能力の考察 －業績管理能力の解明にむけた予備的分析－	63～81
論説	齋藤 靖	マクロミクロの循環メカニズム －技術転換と企業の生存可能性－	83～110
61巻2号 (2014年11月)			
論説	Yutaka Fujioka	Effects of Knowledge Creation and Human Resources on Selecting Appropriate Locations for R&D in MNCs	1～37
論説	鄭 義哲	長期インセンティブ制度としてのストックオプションとその効果	39～61
書評	小川 浩昭	書評：Buthe, Tim=Walter Mattli [2011], <i>The New Global Rulers: The Privatization of Regulation in the World Economy</i> , Princeton University Press 〔小形健介訳[2013], 『IASB/ISO/IEC国際ルール形成のメカニズム』中央経済社〕	63～75
61巻3・4号 (2015年3月) 小川雄平教授古稀記念号			
	K.J.シャフナー	祝辞	
	小川 浩昭	祝辞 －古希記念号の発刊に寄せて－	

種別	著者	論 題	頁
		小川雄平教授 経歴と研究業績	
	小川 雄平	謝辞	
論説	Hirao KOJIMA	Do Real Exchange Rates Follow a Random Walk? Extracted Inflation-Based Evidence from Japanese Yen	1~34
論説	西野 宗雄	原油安、日本銀行異次元金融緩和政策、及び1914-15年 世界同時不況（仮説） -現代の銀行と信用に関する諸考察（その五）-	35~86
論説	野藤 忠	エルンスト・アッペのガラス研究所構想	87~121
論説	小川 浩昭	業種別リスクマネジメントの一考察 -保険会社のリスクマネジメント-	123~158
論説	佐々木武夫	社会科学系大学生のキャリア・デザインとES型採用選抜 -「FBなき慎重な選抜過程」の功罪-	159~184
論説	王 忠毅	日韓企業の海外現地法人のパフォーマンスに関する一考察	185~212
論説	吉武 春光	日経記事の計算機処理における日本語WordNetの有効性	213~222
論説	高野 学	防衛装備品における予定価格の算定方法（I） -1975年改正以前の「訓令」に基づく算定方法-	223~266
資料	伊藤 龍峰	監査委員監査に関するアンケート調査報告-速報	267~299
資料	西田 顕生	九州・山口の制度融資について	301~326
62巻1号（2015年7月）			
論説	福田 晴仁	鉄道貨物輸送のインフラ整備に関する考察	1~22
論説	野藤 忠	エルンスト・アッペのレンズの研究と活用	23~52
論説	王 曉華	先行需要情報を用いた生産在庫システムのシミュレーション分析	53~74
62巻2号（2015年11月）			
論説	Eiichiro Kudo	Accounting Knowledge and Merchant Education in Japan: An Historical and Comparative Study	1~28
論説	小川 浩昭	保険会社のERM	29~71
論説	鄭 義哲	経営者の持株比率と株式パフォーマンス	73~94
論説	XIAOHUA WANG	Simulation Analysis of a Just-in-time Supply Chain System	95~115
62巻3・4号（2016年3月）野藤忠教授古稀記念号			
その他	K.J.シャフナー	祝辞 -野藤忠教授古希記念号 挨拶-	
その他	小川 浩昭	祝辞 -古希記念号の発刊に寄せて-	
その他		野藤忠教授 経歴と研究業績	

種別	著者	論 題	頁
その他	野藤 忠	謝辞	
論説	藤岡 豊	NIH症候群の構成概念 - Katz and Allen (1982) の研究を手がかりとして -	1~37
論説	Hirao KOJIMA	The Effect of Corporate Taxation on the Location Choice of Japanese Multinationals Evidence from Industry-level Panel Data	39~134
論説	西野 宗雄	2015-16年世界同時不況と信用収縮 - 現代の銀行と信用に関する諸考察 (その六) -	135~179
論説	小川 浩昭	保険史考察の意義	181~203
論説	佐々木武夫	働き方の多様化とワーク・ライフ・バランス - Career Design Supportと「豊かな社会」の現在 -	205~230
論説	王 忠毅	日韓企業の企業内貿易の決定要因に関する実証研究	231~261
論説	吉武 春光	日経記事の解析に文脈ベクトルを使うための環境整備	263~284
論説	齋藤 靖	規則の水平的不整合 - 「常陽」第4次操業の事例分析 -	285~334
論説	佐藤 正弘	ICT時代のマーケティング・コミュニケーション - 2つのVoice -	335~351
論説	王 曉華	早期納入を考慮した生産在庫システムに関する研究	353~372
研究ノート	宇田川元一	「変わっていく組織」の研究序説	373~387
63巻1号 (2016年7月)			
論説	鄭 義哲	経営者のエンタレンチメントは存在するのか? - 企業価値と経営者の持株比率の関係からの考察 -	1~24
論説	齋藤 靖	規則の多義性と複数性	25~62
論説	王 曉華	サプライチェーンにおける定量的分析 - シミュレーションを中心に -	63~78
資料	工藤栄一郎	イタリアの高等教育における会計教育についての調査報告	79~110
63巻2・3・4号 (2017年3月)			
論説	Hirao KOJIMA	Competitiveness of Japanese Industry/Multinationals and the Cross-border Corporate Taxation A Geometric and Analytic Study Preliminary to Exploring for the Empirical Evidence	1~42
論説	鄭 義哲	経営者のエンタレンチメント - 会計上の保守主義の観点からの考察 -	43~70
論説	鄭 義哲	エンタレンチメント企業のリスク・リターンの特性について	71~86
書評	小川 浩昭	書評：井手英策〔2015〕『経済の時代の終焉』岩波書店	87~102

種別	著者	論 題	頁
64巻1・2号 (2017年9月)			
論説	工藤栄一郎	モノポリーで学ぶ簿記会計の意義:簿記会計のアクティブラーニング実践とその理論	1~20
論説	高野 学	『中小企業のための原価計算』における価格計算目的	21~42
資料	工藤栄一郎	韓国の大学における会計教育についての調査報告	43~66
64巻3号 (2017年2月)			
論説	佐々木武夫	正規職従業員とその長時間労働 - 休暇が取りにくい<働き者>のWLB -	1~33
論説	田中謙一郎	金融データの欠損値補完	35~54
研究ノート	鄭 義哲	コーポレートガバナンス・コードに対するフルコンプライ企業の株式パフォーマンス	55~68
64巻4号 (2018年9月)			
論説	小川 浩昭	FinTechの理論的考察	1~39
論説	王 忠毅	中国における日系自動車部品サプライヤーの集積地とそのパフォーマンスとの関係	41~77
論説	吉武 春光	学生の提出レポート解析に文脈ベクトルを使う	79~95
論説	平木 真朗	企業別労働組合の代表性	97~123
論説	鄭 義哲	経営者の持株と配当政策そしてイデオシンクラティック・リスク	125~150
研究ノート	伊藤 龍峰	改正地方自治法と監査基準	151~165
65巻1号 (2018年6月)			
論説	伊藤 龍峰	工事契約に係る会計上の見積りと監査対応	1~13
論説	工藤栄一郎	文化としての会計とその移転可能性に関する基礎理論	15~31
論説	西田 顕生	低成長時代の中小企業金融支援 - バブル経済崩壊以降の日本の経験 -	33~67
65巻2・3号 (2018年6月)			
論説	佐々木武夫	社会人基礎力と社会人基盤力 - 12の能力要素と社会人基盤力 -	1~23
論説	高橋 聡	複式簿記に関する一考察 - 因果的複式簿記と分類的複式簿記 -	25~40
論説	鄭 義哲	会計利益と株式リターンの関連性から見える日本企業の配当行動の特徴について	41~59
65巻4号 (2019年3月) 佐々木武夫教授古稀記念号			
	G.W.パークレー	祝辞 - 商学論集古希記念号 (佐々木武夫先生) -	

種別	著者	論 題	頁
	王 忠毅	祝辞 －古希記念号の発刊に寄せて－	
		佐々木武夫教授 経歴と研究業績	
	佐々木武夫	謝辞	
論説	藤岡 豊	生産技術の関接移転と多国籍企業の古典理論	1～42
論説	Hirao KOJIMA	Time Series Analysis of the Japanese Yen, the Euro and the Chinese Yuan Exchange Rates Univariate and Multivariate Evidence from Daily Data	43～111
論説	西野 宗雄	生産業資本家の自己資本利潤率と銀行業資本家の自己資本利潤率の均等化運動	113～159
論説	小川 浩昭	保険ネットワーク論の提唱	161～193
論説	高橋 聡	物価変動会計に関する一考察 －修正歴史的元価主義－	195～213
論説	吉武 春光	深層学習を用いた学生の受講態度の推定	215～236
論説	平木 真朗	1990年代の雇用問題の課題 －日経連『新時代の「日本的経営」』再考－	237～268
論説	鄭 義哲	割安株とコーポレートガバナンス	269～290
研究ノート	西田 顕生	福岡県の自動車産業と地域金融機関	291～312
研究ノート	小野寺香月	戦間期の三菱造船株式会社における職制変更と人的資源調整の展開 －長崎・神戸造船所を例に－	313～352
66巻1・2・3号 (2019年11月)			
論説	鄭 義哲	企業保有の現金の価値とコーポレート・ガバナンスの関係について	1～20
論説	小野寺香月	戦間期の三菱神戸造船所造機部における社風形成	21～55
資料	工藤栄一郎	ドイツの高等教育における会計学教育についての調査報告	57～70
66巻4号 (2020年3月) 西野宗雄教授古稀記念号			
	G.W.パークレー	祝辞 －商学論集古希記念号 (西野宗雄教授)－	
	工藤栄一郎	祝辞 －古希記念号の発刊に寄せて－	
		西野宗雄教授 経歴と研究業績	
論説	Hirao KOJIMA	Temporal Homogeneity of Japanese Yen, Euro and Chinese Yuan Exchange Rate Behavior Part I : Time Series Econometric Contrasts between Two Periods	1～39
論説	丸山 正博	消費者政策としての欠陥住宅におけるADRの有効性の検討 －住友不動産との建設工事紛争審査会の事例－	41～62

種別	著者	論 題	頁
論説	西野 宗雄	諸銀行の競争と銀行利潤及び銀行利潤率	63～102
論説	小川 浩昭	公的年金保険の保険学的考察 －年金崩壊論と賦課式保険の原始性・合理性－	103～141
論説	渦原 実男	倉本長治の商人道とマーケティング哲学 －流通革命を先導した商業指導者－	143～156
論説	原口健太郎	公会計財務諸表情報の地方債市場に対する意思決定有用性 －米国各州のデータを用いた比較分析－	157～176
資料	藤岡 豊	多国籍企業における生産技術システムの国際移転に関する研究プロジェクト	177～188
67巻1号 (2020年7月)			
論説	工藤 秀雄	技術イノベーションを戦略的にマネジメントするリーダー はいかにして生まれるか －製造企業の技術者を対象とした実証研究を通じて－	1～24
論説	小野寺香月	三菱商事における企業家活動－1980年～2004年－	25～63
資料	Yutaka Fujioka	Research project on the international transfer of production technology systems in multinational corporations	65～77
67巻2号 (2020年10月)			
論説	Hirao KOJIMA	Temporal Homogeneity of Japanese Yen, Euro and Chinese Yuan Exchange Rate Behavior PartII: How Has the Behavior Been Affected by the U.S.-China Trade War and the Novel Coronavirus Outbreak/Pandemic?	1～46
論説	小川 哲彦	有価証券報告書における環境会計・SDGs・ESG情報の開示に関する研究	47～58
論説	原口健太郎	公会計財務諸表情報を用いた「国と地方との対等性」の定量的検証 －地方公共団体における基礎的財政条件と国の関与との関連性の導出－	59～75
67巻3・4号 (2021年3月) 小島平夫教授古稀記念号			
	G.W.パークレー	祝辞 －商学論集古希記念号 (小島平夫教授)－	
	工藤栄一郎	祝辞 －古希記念号の発刊に寄せて－	
		小島平夫教授 経歴と研究業績	
	小島 平夫	謝辞	
論説	Yutaka Fujioka	Research prospects for technology transfer in Japanese multinational manufacturing companies	1～31

種別	著者	論 題	頁
論説	福浦 幾巳	わが国の税務会計士における「課税所得と企業利益」調整論争の回顧と展望	33～66
論説	Eiichiro Kudo	Building a Bank Accounting System under New Regime in Modern Japan: from a Japanese Cultural Perspective	67～94
論説	丸山 正博	デジタル・プラットフォームが流通取引慣行に与える流通政策研究	95～112
論説	齋藤 靖	フィリップ・セルズニックの組織アイデンティティ概念	113～133
論説	工藤 秀雄	イノベーションの戦略論における価値次元研究に対する批判的考察	135～168
論説	原口健太郎 丹波 靖博	わが国における公会計と地方債市場に関する分野横断的研究の展開可能性	169～199
研究ノート	吉武 春光	Caffeモデルを使った画像認識実習課題の開発	201～215
68巻1・2号（2021年12月）西南学院高等学部商科設立100周年記念号			
	G.W.パークレー	祝辞 －西南学院高等学部商科設立100周年記念号－	
	西田 顕生	祝辞 －西南学院高等学部商科設立100周年記念号に寄せて－	
論説	Eiichiro Kudo	Institutionalization of Organization and Adoption of DEB in the Meiji Japan	1～22
論説	小川 浩昭	保険学の歴史と体系	23～45
論説	三井 雄一	感情が情報処理に与える影響に関する考察：認知対象との関連性と強度による感情の類型化の視点から	47～64
論説	森光 高大 木村 太一	主観的業績評価におけるバイアス：分析的研究のレビューに基づく考察	65～88
論説	高山 浩二	フィンテック企業の銀行業参入と既存金融機関のデジタル化	89～122
68巻3・4号（2022年3月）渦原実男教授古稀記念号			
	G.W.パークレー	祝辞 －商学論集古希記念号（渦原実男教授）－	
	西田 顕生	祝辞 －古希記念号の発刊に寄せて－	
		渦原実男教授 経歴と研究業績	
	渦原 実男	謝辞	
論説	丸山 正博	デジタル・プラットフォームのインターネット広告事業に関する流通政策研究	1～24
論説	西田 顕生	新卒学生の金融・保険業への就職行動 －西南学院大学と地域金融機関：1952年から1980年－	25～48
論説	渦原 実男	渥美俊一の流通革命の先導と評価	49～76

種別	著者	論 題	頁
論説	原口健太郎 飛田 努 森光 高大 三井 雄一	わが国の水産業における会計学研究の展開可能性 －長崎県における水産経営支援事業を題材として－	77～95
書評	小川 浩昭	書評:堀賀貴編 [2021], 『古代ローマ人の危機管理』九州 大学出版会	97～123
69巻1・2号 (2022年9月)			
論説	丸山 正博	欠陥リフォーム住宅裁判にみる商品名表示の優良誤認性 －「新築そっくりさん」の景品表示法における妥当性の検 討－	1～15
論説	三井 雄一	セルフライセンス効果による罪悪感の軽減が消費行動 に及ぼす影響	17～32
研究ノート	平木 真朗	企業における「雇用ポートフォリオ」の展開 －日本経営者団体連盟『新時代の「日本的経営」』「事例 編」の検討－	33～58
69巻3・4号 (2023年3月) 田中謙一郎教授 伊藤龍峰教授 福浦幾巳教授古稀記念号			
		田中謙一郎教授 経歴と研究業績	
	今井 尚生	祝辞 －商学論集古希記念号 (田中謙一郎教授)－	
	西田 顕生	祝辞 －古希記念号の発刊に寄せて－	
	田中謙一郎	謝辞	
		伊藤龍峰教授 経歴と研究業績	
	今井 尚生	祝辞 －商学論集古希記念号 (伊藤龍峰教授)－	
	西田 顕生	祝辞 －古希記念号の発刊に寄せて－	
	伊藤 龍峰	謝辞	
		福浦幾巳教授 経歴と研究業績	
	今井 尚生	祝辞 －商学論集古希記念号 (福浦幾巳教授)－	
	西田 顕生	祝辞 －古希記念号の発刊に寄せて－	
	福浦 幾巳	謝辞	
論説	鄭 義哲	外国人投資家の株式保有と現金の価値	1～23
論説	Eiichiro Kudo	How Accounting Came About	25～37
論説	工藤 秀雄	職務経験がイノベーション行動におよぼす影響に関する実 証研究	39～64

種別	著者	論 題	頁
論説	丸山 正博	電子商取引に関わる流通政策の現状	65～82
論説	松田 温郎 山崎 万緋	地方都市の商業集積を対象にした多様性評価モデルの追試研究	83～104
論説	小川 浩昭	保険前史の予備的考察	105～136
論説	小川 哲彦	環境会計情報の開示の現状と課題	137～152
論説	王 忠毅	多国籍企業における取引形態およびその決定要因の変化について	153～182
論説	王 曉華	先行需要情報と生産能力の調整を考慮した在庫システムに関する研究	183～197
論説	吉武 春光	Fine Tuning による学生の受講態度の推定	199～211
論説	原口健太郎	わが国の特殊法人における法と会計 －会計学と法学との交錯領域における研究対象の模索－	213～225
論説	森光 高大	水産経営における収益性測定についての一考察 －漁業の収益性に関する文献レビューに基づいて－	227～245
論説	小野寺香月	海軍艦船部の成立と展開	247～283
70巻1・2・3・4号 (2024年3月)			
論説	新島 裕基 松田 温郎 山崎 万緋	商業集積を対象にした日本版多様性評価モデルの検討 ～九州地区8商店街の追試研究～	1～18
論説	三井 雄一 小林 哲 佐藤 圭	特定保健用食品の便益遅延性認知による製品評価への影響に関する実証分析	19～37
論説	小野寺香月	日本海軍における工作科の成立 －金木統合の過程に注目して－	39～75
論説	新原 俊樹 井手 順子 史 一華	2023年度「データリテラシー」科目の実施結果と課題の検証	77～95
研究ノート	齋藤 靖	発注元からの圧力に起因する逸脱作業（Ⅰ） 「常陽」第6次操業の事例分析	97～135

(編集者：西南学院大学商学部教授 松田 温郎)